

# 国際理解教育 外国語活動の実践



# 国際理解教育全体計画

守谷市教育委員会

## 国際理解教育の目標

国際化にふさわしい日本人としての資質・能力の基礎を育てる

### 国際理解教育の内容

- 人権意識の涵養
- 異文化理解と尊重
- 自国の文化の理解と尊重
- コミュニケーション能力の育成
- 国際協力と協調

### 外国語活動のめざす内容

- 異文化の理解と尊重
- 自国の文化の理解と尊重
- 主体性の育成

## 守谷市外国語活動全体目標

外国語に触れる体験活動を通して、外国語を聞いたり話したりすることに興味関心をもち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を育てるとともに、言語、文化、生活、習慣などに対する興味関心を高め、国際理解の基礎を培う。

## 外国語活動の目標

低学年	<ul style="list-style-type: none"><li>・歌や遊びなどの活動を通して、身近な外国語に触れ、その音に慣れ親しむ。</li><li>・世界には、色々な国があることに気付き、異なる文化に興味をもつ。</li><li>・外国語での元気なあいさつを通して誰とでも仲良くなろうとする態度を養う。</li></ul>
中学年	<ul style="list-style-type: none"><li>・歌や遊び、ゲームなどの活動を通して、簡単な外国語に触れながら、外国語を聞いたり、話したりすることを楽しむ。</li><li>・異文化を受け入れようとする態度を育てる。</li><li>・自分のことを外国語を交えて積極的に伝えようとする。</li></ul>
高学年	<ul style="list-style-type: none"><li>・外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。</li><li>・世界の国々の様々な生活や文化に触れ、自分たちの生活がそれらの国々と密接に結びついていることに気付く。</li><li>・相手の立場を尊重し、外国語を交えて自分の考えをはっきり述べようとする。</li></ul>

## 中学校外国語（英語）科目目標

外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことなどのコミュニケーション能力の基礎を養う。

## I 守谷市の外国語活動にあたっての基本的な考え

### 1 外国語活動のねらい

社会や経済のグローバル化が急速に進展し、異なる文化の共存や持続可能な発展に向けて国際協力が求められるとともに、人材育成面での国際競争も加速していることから学校教育において外国語教育を充実することが重要な課題の一つとなっている。

「人に優しい街づくり」を目指す守谷市としては、国際化時代への積極的な取り組みの第一歩として、市内全小中学校に英語指導助手（Assistant Language Teacher 略してALT）を配置し、総合的な学習の時間を中心に外国語活動を位置付けた。外国語に触れる体験的活動を通して、外国語を聞いたり話したりすることに興味・関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度や能力を育てるとともに、言語、文化、生活、習慣などに対する理解を深め、国際理解の基礎を培うことをねらいとし、様々な国の人とのふれあいを通して、優しさ・思いやりを基軸にした国際理解の精神を育てると共に国際コミュニケーションの素地を養い、次代を担う人づくりを目指して進めていきたいと考える。

### 2 外国語活動の意義と必要性

#### (1) 小学校段階から実施する理由

児童期は、新たな事象に関する興味・関心が高く、言語をはじめとして、異文化に関しても自然に受け入れられる時期にある。このような時期に外国語に触れることは、コミュニケーション能力を育てる上でも、国際理解を深める上でも大変重要な体験となる。「外国語活動」そのものが異文化に触れる体験となり、さらに、外国の人や文化に関わろうとする時の手段として、外国語を活用しようとする態度を育成することにもつながる。すなわち、言語習得を主な目的とするのではなく、興味・関心や意欲の育成をねらうことが重要である。

また、児童期は、言葉に対する適応性という点からも適切な時期でもある。音声を中心に慣れ親しんでいく過程は、日本語の場合と同様であり、ことばを全体的に把握し、ことばのリズムやイントネーション、アクセントなどを自然な形で受け入れていくものと考えられる。

#### (2) 英語を取り上げる理由

今日英語は、航空、商業、観光、先端技術分野、国際会議等の国際共通語として用いられており、多くの外国人と交流を深め、国際理解を進める上で最も有効な言語であり、世界とのコミュニケーションを図る上で欠かせない言語であるといえる。現行の中学校学習指導要領では外国語が必修教科となり、しかも「指導計画の作成と内容の取り扱い」の項目において、「1 必修教科としての外国語においては英語を履修させることを原則とする。」というように英語が取り上げられるようになった。また、新学習指導要領での小学校外国語活動においても、英語を取り扱うことを原則としている。

以上のことから、今後小学校における外国語活動はますますその必要性が高まることが予想され、それに的確な形で応えていくことが求められている。

### 3 国際理解教育における外国語活動の位置付け

国際理解の充実  
国際化時代にふさわしい日本人としての資質・能力の基礎を育てる

#### 国際理解教育の内容

- ★ 人権意識の涵養
- ★ 異文化理解と尊重
- ★ 自国の文化の理解と尊重
- ★ コミュニケーション能力の育成
- ★ 国際協力と協調

#### 守谷市外国語活動のめざす内容

- ① コミュニケーション能力の育成
- ② 文化(異国・自国)の理解と尊重



全 学 年 で 実 施	
① 特別活動の時間	学級活動
	学校行事
② 創意工夫によって生み出された時間	
③ 朝の会・帰りの会・給食などの生活時間の中で	



1・2学年	3・4・5・6学年
① 生活科の時間	① 総合的な学習の時間
② 教育課程外の時間の活用	テーマ「国際理解」
③ 各教科	② 各教科
	③ 外国語活動(5, 6年)

教 科	取 り 入 れ の 視 点
国語	国際的な表現活動の違いを考える。
社会	地域や日本を国際的な立場から見てみる。
算数	筋道を立てて考える方法の違いに気付く。
理科	自然や環境についての国際的な考えを知る。
音楽	外国の音楽に親しむ。
図工	造形や鑑賞を通して、外国の文化を理解する。
体育	世界のスポーツに興味・関心を持つ。
家庭	衣食住の違いを理解する。
道徳	人間尊重の精神、他国の文化や伝統を尊重する態度を身につける。

## II 守谷市の外国語活動のあり方

### 1 守谷市の外国語活動の基本原則

- 守谷市の外国語活動は、外国語を通じてどれだけ子どもが興味・関心をもって楽しく積極的にコミュニケーション活動ができるかである。(単に英単語を覚え、英会話ができることを一義としない。)
- 守谷市の外国語活動は、ALTとJTEが子どもとのコミュニケーション活動を大切にし、子どものコミュニケーション能力を育てていく活動である。
- 守谷市の外国語活動は、「聞くこと」「話すこと」に視点を置き、音声による活動を主とするものである。
- 守谷市の外国語活動は、外国語に触れることにより、子どもが異文化を理解し、自他の文化を尊重する国際人としての精神を育てていく糧とするものである。
- 守谷市の外国語活動は、基本原則を基に、各学校が全職員で協力し合いながら、年間活動計画を立案し実践していくものである。

### 2 守谷市の外国語活動の基本的な活動

#### 子どもの外国語に対する興味・関心・意欲を高める活動

##### 外国語で楽しく遊ぶ

主体的な活動・心のリラックス  
音声活動・外国語のリズム・基本文型

- ゲームをとおして、動作化をとおして、レクリエーションをとおして、歌を歌って

##### コミュニケーション能力を養う

- スキットをとおして、ロールプレイや身近なテーマ活動をとおして



【クリスマス】



【外国の遊び】

### Ⅲ 外国語活動の内容

#### 1 外国語活動の目標

<b>守谷市外国語活動の全体目標</b>	
外国語に触れる <b>体験的</b> 活動を通して、外国語を聞いたり話したりすることに興味関心を持ち、 <b>積極的に</b> コミュニケーションを図ろうとする態度や <b>能力</b> を育てるとともに、言語、文化、生活、習慣などに対する <b>理解を深め</b> 、国際理解の基礎を培う。	

#### ① 評価の観点と評価規準

評価の観点	観点の趣旨【★】 と 評価規準【①～③】
<b>A</b> コミュニケーションへの関心・意欲・態度	★ 外国語を使って、進んで相手と関わり、コミュニケーションの喜びや楽しさを味わう。
	① 進んで相手と関わり楽しくコミュニケーションを図ろうとしている。 ② 知っている表現を積極的に使うなど、外国語活動に取り組もうとしている。 ③ ルールやマナーを守って、コミュニケーションを図ろうとしている。
	★ 聞いたり、話したりする体験的活動を通して、相手と気持ちや考えなどを伝え合う。
<b>B</b> コミュニケーション能力	① 相手の言葉、身振り、手振りなどから、伝えようとしていることを理解しようとして反応している。 ② 自分の気持ちや考えを、親しんだ外国語表現や身振りなどを用いて伝えようとしている。 ③ 外国語によるコミュニケーションの仕方を身につけようとしている。
	★ 外国には、さまざまな考え方や文化があることや日本の文化とのちがいを、そのよさに興味をもつ。
	① 外国の人、言葉、文化にふれ、興味をもとうとしている。 ② 外国と日本の文化のよさやちがいに興味をもとうとしている。 ③ 外国の人に日本の文化を発信しようとしている。
<b>C</b> 言葉や文化についての関心・理解・態度	★ 外国には、さまざまな考え方や文化があることや日本の文化とのちがいを、そのよさに興味をもつ。
	① 外国の人、言葉、文化にふれ、興味をもとうとしている。 ② 外国と日本の文化のよさやちがいに興味をもとうとしている。 ③ 外国の人に日本の文化を発信しようとしている。
	★ 外国には、さまざまな考え方や文化があることや日本の文化とのちがいを、そのよさに興味をもつ。

#### ② 外国語でのコミュニケーションを授業で体験する

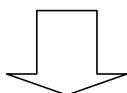
〔コミュニケーション場面の例〕

(ア) 特有の表現がよく使われる場面を設定する

・あいさつ      ・自己紹介      ・買い物      ・食事      ・道案内 etc

(イ) 児童の身近な暮らしにかかわる場面を設定する

・家庭での生活      ・学校での学習や活動      ・地域の行事      ・遊び etc



〔コミュニケーションの目的の例〕

- (ア) 相手との関係を円滑にする【呼びかけ、相づち、聞き直し (=Social Skill)】
- (イ) 気持ちを伝える【礼を言う、誉める (=Social Skill / =Discourse Skill)】
- (ウ) 事実を伝える【(=Discourse Skill)】
- (エ) 考えや意図を伝える【(=Discourse Skill)】
- (オ) 相手の行動を促す【質問する、依頼する (=Social Skill / =Discourse Skill)】

## 2 活動内容

守谷市の小学校における外国語活動は、英語という言語を通して、日本とは異なる文化を持つ人々と進んでコミュニケーションを図ったり、ゲームや歌、または身近なテーマ中でのコミュニケーション体験を友達と楽しく活動したりする中で、他と積極的にコミュニケーションを図ろうとする能力の素地を養うことを目標としている。

また、自然に英語の音に触れ、無理なく英語を聞き、話すといった英語に慣れ親しむなどの言語や文化の体験的な理解は、同時に国際理解の基礎を培うことであると考えられる。

- (1) 守谷市が外国語活動を通して目指すねらいの一つ「コミュニケーション能力」については、「聞く」「話す」活動を主として育成していくものとする。
- (2) 主な活動内容については、必ず指導するものではなく、到達すべき内容でもなく、あくまでも学校の特色や学年の実態を把握し、年間計画を立案する上での参考とするものである。
- (3) アルファベットについての指導は、児童の実態に合わせて、小学校6年間で指導していくことが望ましい。但し、ドリル的な指導や教え込みの指導は控えるようにする。
- (4) 「書く」活動については、学年の実態に合わせて、「自分の名前を書く」「グリーティングカード作り」程度の内容に押さえておくことが望ましい。但し、「クラブ活動」など時間を通して、児童の興味・関心から判断し「書く」活動を取り入れてもよい。
- (5) 「文字」については、教えるのではなく、単語や基本的な文型など掲示板を活用して、視覚的に示すようにする。
- (6) 中学校の外国語教育との連携を考える上では、小学校の外国語活動は、児童に外国語や外国文化に対する興味・関心をもたせ、その高まりを中学校の外国語教育につなげ、「耳」から学んだ「聞く・話す」力を大いに発揮させることで、中学校の外国語教育に意欲的に取り組むことができるようにすることが重要である。

## 3 外国語によるコミュニケーションに親しむ環境作り

外国語によるコミュニケーションに親しむためには、外国語活動の時間以外に、ALTによる教育活動への参加や校舎内外の環境等を工夫することによって、児童への興味・関心を高めていくことができる。

- (1) 朝の時間、昼の時間、帰りの時間などの活動に、ALTと一緒に参加しやすいような活動を工夫することが望ましい。

- (2) J T E ・ H R T は、積極的に外国語活動に取り組めるよう研修の機会を確保し、関係資料の整備などに心がける。
- (3) J T E ・ H R T は、定期的に研修を行い外国語活動の反省と今後の活動等を検討することが望ましい。
- (4) 外国語活動教室の設置、国際理解コーナーの設置など、児童が自由に A L T と触れ合える場を確保する。

#### 4 年間活動計画の作成

##### (1) 年間活動計画作成の必要性

児童の外国語に対する興味・関心を高め、持続させつつ外国語活動の目標を達成させるためには、年間の活動計画が不可欠である。場当たりの活動を中心に進めることは、マンネリ化に陥りやすく、やがて児童は興味を失ってしまう心配がある。

従って、各学校は、守谷市の「外国語活動の基本的な考え方や全体目標」や「活動目標や評価規準」に沿って、児童の実態や地域性を踏まえ、学校の特色を生かしながら、年間活動計画を作成していくことが重要な課題になる。

また、単位時間の計画案についても、職員が協力し合い検討し、共に十分理解した上で活動に臨むことが大切である。そして、実践し、その活動が適切であったかどうか常に振り返り、見直し、修正し、記録を残すようにすることが、児童の積極的な活動につながる要因である。

##### (2) 年間活動計画作成の留意点

- 守谷市の外国語活動の基本的な考え方を押える。
- 守谷市の活動目標を柱に授業を構成し、評価規準で振り返る。
- 1年間を見通して、変化のある計画を立てる。
- 発達段階を考慮し、無理や重複のない計画を立てる。
- 地域の特性や学校環境を生かす。
- 国際理解や他国の文化に触れる活動を取り入れる。

年間活動計画や1時間の活動計画については、全職員が共に検討・見直し・修正を行い、共に実践し、共に積み重ねていくことが重要である。

作成に当たっては、日本語版と合わせて、A L T が把握しやすいように英語版を用意することにも配慮したい。

#### 5 第2土曜日の外国語活動

##### (1) 名称 「A L T と遊ぼう」

##### (2) 趣旨

- 守谷市における小学生の国際理解の精神を深めるとともに、国際交流に対する積極的な態度を養う。
- 学校週5日制に伴い、外国語活動を通して土曜日の体験活動の場を提供し、充実を図



る。

○ 外国語活動を通して、学校・児童・保護者交流・連携を図る。

(3) 対象 守谷市小学生及び保護者

(4) 内容 ALT 3人の講師による外国語遊びを中心とした外国語活動

(5) 期日 原則毎月第2土曜日

## 6 外国語活動推進委員会

(1) ねらい

○ 外国語活動の積極的推進とALTの有効活用のための研修を実施する。

○ 小学校から中学校への外国語活動におけるスムーズな連携のための研修と、協議を実施する。

○ 小学校、中学校の授業研究を交互に実施し、研究協議を通して守谷市の外国語活動の充実を図る。

(2) 平成22年度外国語活動推進委員会実施一覧

期 日	内 容	場 所
5月12日(水)	今年度の取組, 各校年間活動集作成	市役所大会議室
7月7日(水)	小学校授業研究と協議	高野小学校
9月29日(水)	中学校授業研究と協議	愛宕中学校
2月2日(水)	小学校授業研究と協議	黒内小学校

## 7 ALTミーティング

(1) ねらい

○ ALT資質の向上を図る。

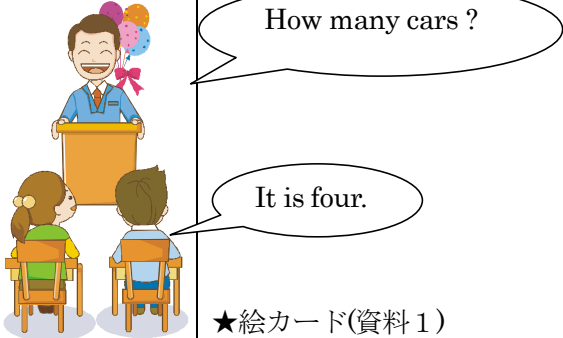
○ 各校の情報交換と教材研究及び開発。

(2) 平成22年度ALTミーティング実施一覧

期 日	時 間	場 所
4月1日(木)	13:00	市役所 中会議室
4月27日(火)	15:30	市役所 小会議室
6月7日(月)	15:30	市役所 庁議室
9月1日(水)	15:30	市役所 小会議室
11月2日(火)	15:30	市役所 小会議室
1月11日(火)	15:30	市役所 中会議室

□ 小学校実践事例 □

題材名 「How many? and Sea Animals」

学習活動	☆留意点★準備するもの
<p>1 英語のあいさつをする。 ・自分の気分についてALTと会話を する。 How are you? Are you sleepy? What day is today?</p> <p>2 歌を歌う。</p> <p>3 How many?の練習をする。 (1) 絵カードの数を答えあう。 How many apples are there? It is three.</p> <div data-bbox="576 958 1141 1294" style="text-align: center;">  </div> <p>(2) Play how many janken</p> <p>4 sea Animal の言い方の練習をする (1) Review Sea Animal (2) Sea Animal Bingo</p> <p>5 活動の振り返り (1) 言い方の復習をして、活動の振り返りをする。 (2) あいさつ</p>	<p>☆元気なあいさつをすることで、活動への期待感を高めたい。(HRT/ALT)</p> <p>☆子どもとともに歌い、いっしょに活動する楽しい雰囲気を作る。(HRT/ALT) ★MD,MD プレーヤー</p> <p>☆やり方をよく理解していない児童には、HLTがいっしょに活動したり、説明をしたりして、活動を援助する。</p> <p style="text-align: center;">How many cars ?</p> <p style="text-align: center;">It is four.</p> <p>★絵カード(資料1)</p> <p>☆これまでの復習になるので、ALTの言い方をよく聞き、まねながら言えるように声かけ、態度や発音の仕方を積極的に称賛する。(HRT) ☆ビンゴになった児童も、引き続きゲームに参加していくようにして、活動への意欲を持たせる。 ★絵カード(資料2), ビンゴカード</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>☆ 会話やゲームに積極的に参加し、楽しみながらできたか。(観察)</p> </div> <p>☆本時の活動を振り返り、楽しくできたことを具体的に称賛し、活動への満足感を持たせるようにする。(HRT/ALT) ☆児童といっしょに大きな声であいさつし、次時への期待感を持たせる。(HRT/ALT)</p>



How many  
c a r ?

How many  
a p p l e  
a r e  
t h e r e ?



Pl a y h o w  
m a n y j a n k e n

大井沢小学校第6学年外国語活動案

授業者 HRT 井原 健二

ALT ロバート・ハシモト

題材名「What subject do you study ?」

学習活動	☆留意点 ★準備するもの
<p>1 あいさつをする。 Hello. How are you?</p> <p>2 Sunday Monday Tuesdayを歌う。</p> <p>3 教科の言い方を復習する。 math,Japanese,science,P.E. social studies,music,English, art and crafts,home economics</p> <p>4 ウォームアップの教科名のキーワード ゲームを行う。</p> <p>5 ペアゲームをする。 ペアになり、定型文を使って時間割表 に絵カードを置いてオリジナル曜日時間 割表を作成する。</p>	<p>☆正しい発音のモデルを示す。(ALT)</p> <p>☆児童と一緒に元気にあいさつをする。(HRT)</p> <p>☆楽しい雰囲気之歌えるようにする。(ALT)</p> <p>☆児童と一緒に元気に歌う。(HRT/ALT)</p> <p>★曜日のフラッシュカード・CD・CDプレーヤー</p> <p>☆正しい発音のモデルを示す。(ALT)</p> <p>☆ALTの指示がわからず戸惑っている児童に 対しては、日本語で補足説明を行うようにす る。(HRT)</p> <p>★教科のフラッシュカード</p> <p>☆キーワードを決めて、絵カードを活用しなが ら、児童に知らせる。(ALT)</p> <p>☆デモンストレーションをする。(HRT/ALT)</p> <p>☆ペアゲームのやり方を説明し、デモンストレ ーションをする。(HRT/ALT)</p> <p>★教科と曜日カード、時間割と絵カードの拡大 図、定型文を書いたホワイトボード</p>
<p>A:What subject do you study on [day]?</p> <p>B:On [day]I study [subject][subject][su bject]and[subject].</p> <p>A:Do you like [subject]?</p> <p>B:Yes,I do. / No,I don't.</p> <p>A:Thank you.</p>	<p>☆ペアをローテーションさせ、定型文を使い何 度もゲームを繰り返すことで、発音すること への抵抗感をなくすようにする。(HRT/ALT)</p> <p>☆うまく活動できない児童に対しては、児童に 寄り添い一緒にゲームをすることで自信を もって発表するための手立てとする。(HRT)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>☆友だちやALTと進んでコミュニケーション をとりながら時間割を伝え合おうと する。(観察)</p> </div>
<p>6 活動の振り返りをする。</p> <p>7 あいさつをする。 See you next time. Good bye.</p>	<p>☆本時の扱う表現をリピートさせ、活動を振り 返らせる。(ALT)</p> <p>☆児童の英語を使おうとする態度が良かったと ころを伝える。(HRT/ALT)</p> <p>☆児童とともに大きな声であいさつし、次時へ の意欲をもたせる。(HRT/ALT)</p>



Hello. How are you?  
I'm fine thank you.



キーワードゲーム  
math,Japanese,science,P.E.  
social studies,music,English,  
art and crafts,home economics



A:What subject do you study on [day]?  
B:On [day]I study [subject][subject][subject]and[subject].  
A:Do you like [subject]?  
B:Yes,I do. / No,I don't.  
A:Thank you.

大野小学校 第2学年 外国語活動指導案

授業者 HRT 稲葉 英美  
ALT Bree Isikawa  
(ブリー・イカリ)

1 題材名 「Mine(私のもの)」

2 目標

- (1) 簡単な英語に関心を持ち、進んで相手と関わり、英語を使ってコミュニケーションをとることができる。  
(コミュニケーションへの関心・意欲・態度)
- (2) 外国の人、言葉、文化にふれ、興味を持つ。  
(コミュニケーション能力)

3 展開

学習活動及び内容	指導・支援上の留意点 (評は評価)	
	ALT	HRT
1 はじめのあいさつをする。 ・「How are you? How's the weather?」 あいさつ・天気等  ・前時の学習を振り返り復習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一対一でのあいさつや簡単な質問に答えられるように配慮する。</li> <li>・ 元気にあいさつができるように励ます。</li> <li>・ とまどっている児童には、ヒントを与える。</li> <li>・ ALTの発音をよく聞き、発音や唇の形を真似て発音ができるよう指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自信を持って元気にあいさつできるように側に行って支援する。</li> <li>・ 友達のあいさつをよく聞き、友達の発音をよく聞き、互いに励ますことができるよう援助する。</li> <li>・ ALTの発音をよく聞き、発音を真似て発音ができるよう支援する。</li> </ul>
2 「Rock-Paper - Scissors」を行う。 (ジャンケンゲーム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童と一緒にジャンケンゲームをして、明るく楽しい雰囲気を作り、誰もが英語活動を楽しめるように配慮する。</li> </ul>	
3 「Criss - Cross Game」を行う。 (クロス・クリスゲーム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ALTの発音をよく聞き、発音を真似ながら発音するように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ALTの発音をよく聞き、発音を真似ながら歌を歌えるように励ます。</li> </ul>
4 「Is it yours ?」 「Yes, it's mine」 「No, it's not mine」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ALTの発音をよく聞き、発音を真似ながらお互いの発音に注意し、楽しく英語活動ができるように配慮する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 習熟に時間のかかるグループに入って発音や単語の意味のヒントを与える。</li> </ul>
5 「Whose pencil ?」 ・ 発音の練習 「Whose pencil ?」 2組になって誰の鉛筆なのかを当てる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「Whose pencil ?」 「Is it yours ?」 「Yes, it's mine」 「No, it's not mine」 誰の鉛筆なのか分かるようにヒントを出しながら英語活動が楽しくなるように支援する。</li> <li>・ 発音の仕方やイントネーションに気をつけながら、話すことができるように支援する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習の習熟に時間がかかる児童には個別に指導し、板書やワークシートをみて学習を振り返る。</li> <li>・ 発言内容が核心から外れていても、一人一人の意見を大切にできるように指導する。</li> </ul>
6 ゲーム「My Pet」 ・ 児童に Pet の絵を描かせ絵を描いた児童を捜すゲームをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ゲームに意欲的に参加し、友達と楽しく会話しながら、英語を聞いたり話したりすることができたか。 (声・動作)</li> <li>② それぞれの「Whose pencil ?」「Is it yours ?」「Yes, it's mine」「No, it's not mine」を覚え、自信を持って話す事ができたか。 (コミュニケーション能力)</li> </ul>	
7 終わりのあいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 児童と共に元気にあいさつし、次時の活動への意欲づけを行う。</li> </ul>	





# 高野小学校 第1学年外国語活動案

指導者 HRT 山崎 綾子

ALT Jason Downey

## 1 単元 Shopping Game

### 2 本時の学習

#### (1) 目標

買い物をするときの簡単な表現を知り、ゲームを通して友達や ALT とコミュニケーションを楽しむことができる。

#### (2) 準備・資料

絵カード（果物の絵）教師用、絵カード（果物の絵）児童用、ゲーム用のお金、CD、黒板、Shopping Bag Card のり

#### (3) 展開

学習内容・活動	指導上の留意点・評価	
	ALTの指導	HRTの指導
1 あいさつをする。 Hello.. How's the weather today ? What day is it today ?	・正しい発音のモデルを示す。	・児童と一緒に元気に挨拶する。
2 Head Shoulder knees and toes を歌う。 (資料1)	・動作も入れながら、楽しい雰囲気ので歌えるようにする。	・児童と一緒に歌う。
3 ウォームアップのゲームを行う。 (資料2) ALT のまねをする。(Jason says) Jason says,"klap hands". Jason says,"turn around".	・「Jason says,・・・」と言いながら、動作をする。	・児童と共に参加し、注意を前に引きつけるよう児童に助言する。 ・児童の様子を見て日本語で補足を行う。
4 果物の言い方を練習する。 Banana Orange Strawberry Melon Water melon Apple	・果物のカードを貼りながら、発音を復習する。	・英語の発音があがスムーズにできるように、大きく口を開けて発音するようにする。
5 買い物をするときの言い方を復習し、Shopping Game の練習をする。 (1) お客さん Banana ,please? Thank you (2) お店屋さん Yes,please. ~ daller please. Thank you.	・児童に発音が分かりやすいように、腕の動作もつけて動く。 ・ゲームのやり方を説明する。 ・児童の様子を見て、コミュニケーションが英語でとれずに困っている場合には、そばに行き、一緒に発音の手助けをする。	・ALT と共にデモンストレーションを行い、児童の様子を見て日本語で補足を行う。 ・児童の様子を見て、うまく活動できない児童のそばに行き、一緒にゲームをする。
6 お買い物ゲームをする。 (1) 2チームに分かれる。 (2) お客さんチーム・お店屋さんチームの両方に、お金を渡す。 (1・5・10ドル) (3) お客さんチームは、お金を持ってお店やさんチームに行き、英語でコミュニケーションをとりながら買い物を	⑥ お買い物ゲームをしながら、友達や ALT とコミュニケーションを楽しむことができる。(観察)	

- (4) お店やさんチームは,カードの裏に書かれている値段を見ながら英語で答え,商品を渡す。
- (5) 商品がなくなったり,持ち金がなくなったらゲームは終了。お客さんチームは自分の席に戻る。
- (6) お客さんチームの児童は,買ってきた果物のカードを Shopping Bag Card に貼る。 (資料3)
- (7) 役割を交代してゲームを行う。

7 あいさつをする。  
See you next time.  
Thank you.

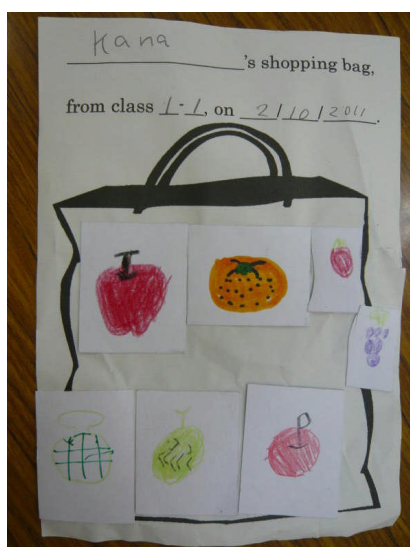
- ・全員が楽しんでゲームに参加できるように,全体を見渡し,必要な場合には援助する。
- ・次に何をしたらよいか分からない児童には,そばにより助言する。
- ・児童と共に大きな声で挨拶し,次時への意欲を持たせる。



(資料1)



(資料2)



(資料3)

# 高野小学校 第4学年外国語活動案

指導者 HRT 染谷 静子

ALT Jason Downey

## 1 単元 Directions and Places

### 2 本時の学習

#### (1) 目標

場所や方向を表す簡単な表現を知り、ゲームを通して友達や ALT とコミュニケーションを楽しむことができる。

#### (2) 準備・資料

絵カード（場所に関する物）、CD、マット、カラーコーン、輪、紅白玉、アイマスク、黒板、ホワイトボード、カラーカード（5色）

#### (3) 展開

学習内容・活動	指導上の留意点・評価	
	ALTの指導	HRTの指導
1 あいさつをする。 Hello.. How's the weather today ? What day is it today ?	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい発音のモデルを示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と一緒に元気に挨拶する。</li> </ul>
2 The Wheels on the Bus を歌う。(資料1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>動作も入れながら、楽しい雰囲気ので歌えるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と一緒に歌う。</li> </ul>
3 ウォームアップのゲームを行う。 じゃんけんして勝った方が質問する。 what's your name? How are you. Where are you going ?	<ul style="list-style-type: none"> <li>建物や施設の絵カードを提示する。</li> <li>参観に来ている ALT にも参加を呼びかける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A L Tと共にデモンストレーションを行い、児童の様子を見て日本語で補足を行う。</li> <li>うまく発音できない児童のそばに行き、一緒に発音する。</li> </ul>
4 方向の言い方を復習する。 (1) 指示された方向に動く。 go right / go left / go straight / go back / stop (2) マリオゲームをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童に方向が分かりやすいように、腕の動作もつけて動く。</li> <li>障害物ゲームのイメージをつかめるように説明する。(資料2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>場の移動がスムーズにできるようにする。</li> </ul>
5 障害物ゲームをする。 (1) 4チームに分かれる。 (2) 障害物にぶつからないように ALT に方向を教える。(資料3) (2~3人のグループ) (3) ゴールしたら絵カードを取ってボードに貼り、スタート地点に戻ってアイマスクを次のグループに渡す。 (4) たくさんカードを取れたチームの勝ちとなる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>参観に来ている ALT に協力を依頼し、障害物を避けて目的地に行く役をやってもらう。</li> <li>事前に場の設定をしておく。</li> <li>ゲームのやり方を説明する。</li> <li>線からはみ出したり、障害物をふんでしまった時は、止まってバツ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>A L Tと共にデモンストレーションを行い、児童の様子を見て日本語で補足を行う。</li> <li>アイマスクがバトンの代わりになることを伝える。</li> <li>児童の様子を見て、うまく活動できない児童のそばに行き、一緒にゲームをする。</li> </ul>

6 あいさつをする。  
See you next time.  
Thank you.

クを確認する。

⑩ 障害物ゲームをしながら、友達や ALT とコミュニケーションを楽しむことができる。(観察)

・児童と共に大きな声で挨拶し、次時への意欲を持たせる。



(資料 1)



(資料 2)

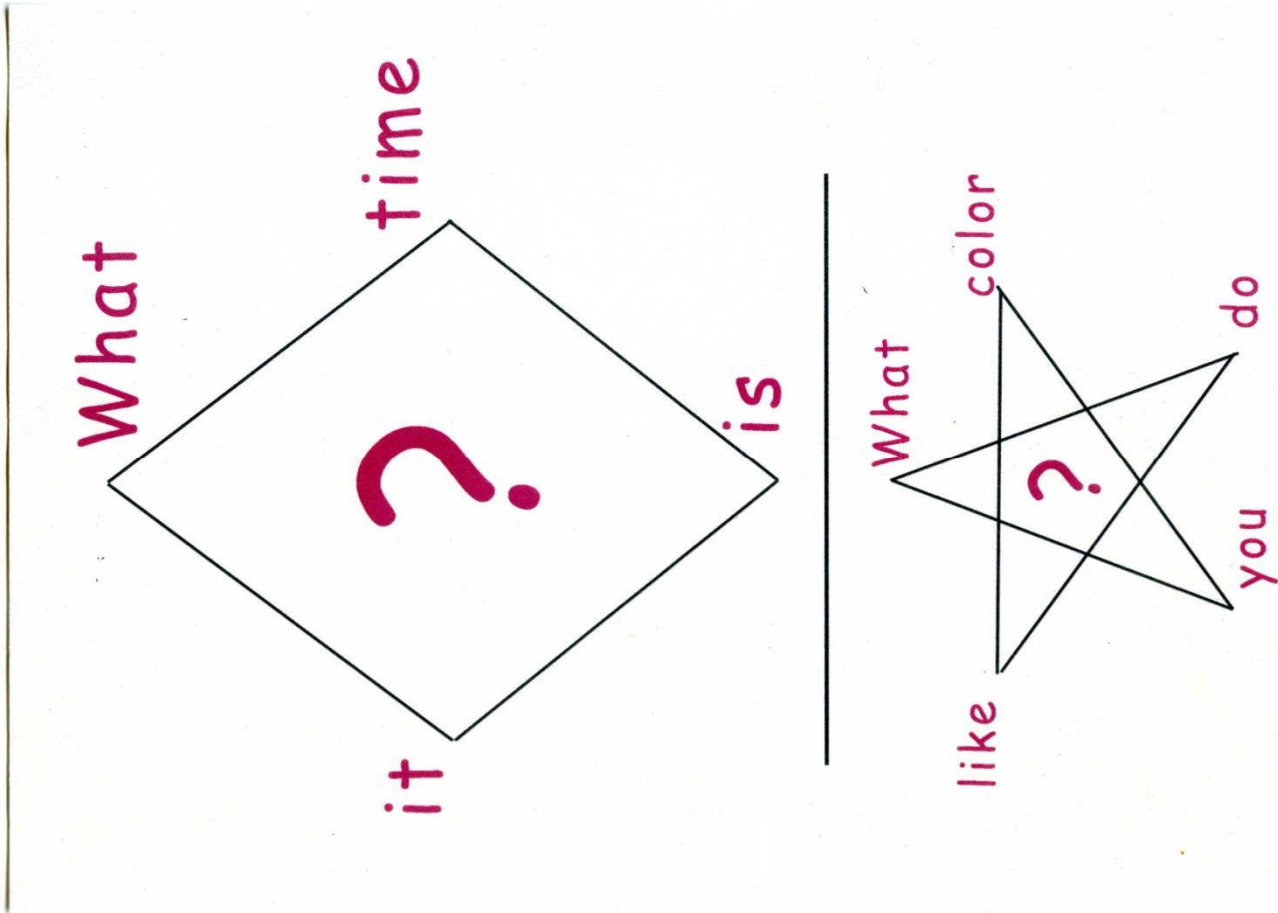


(資料 3)

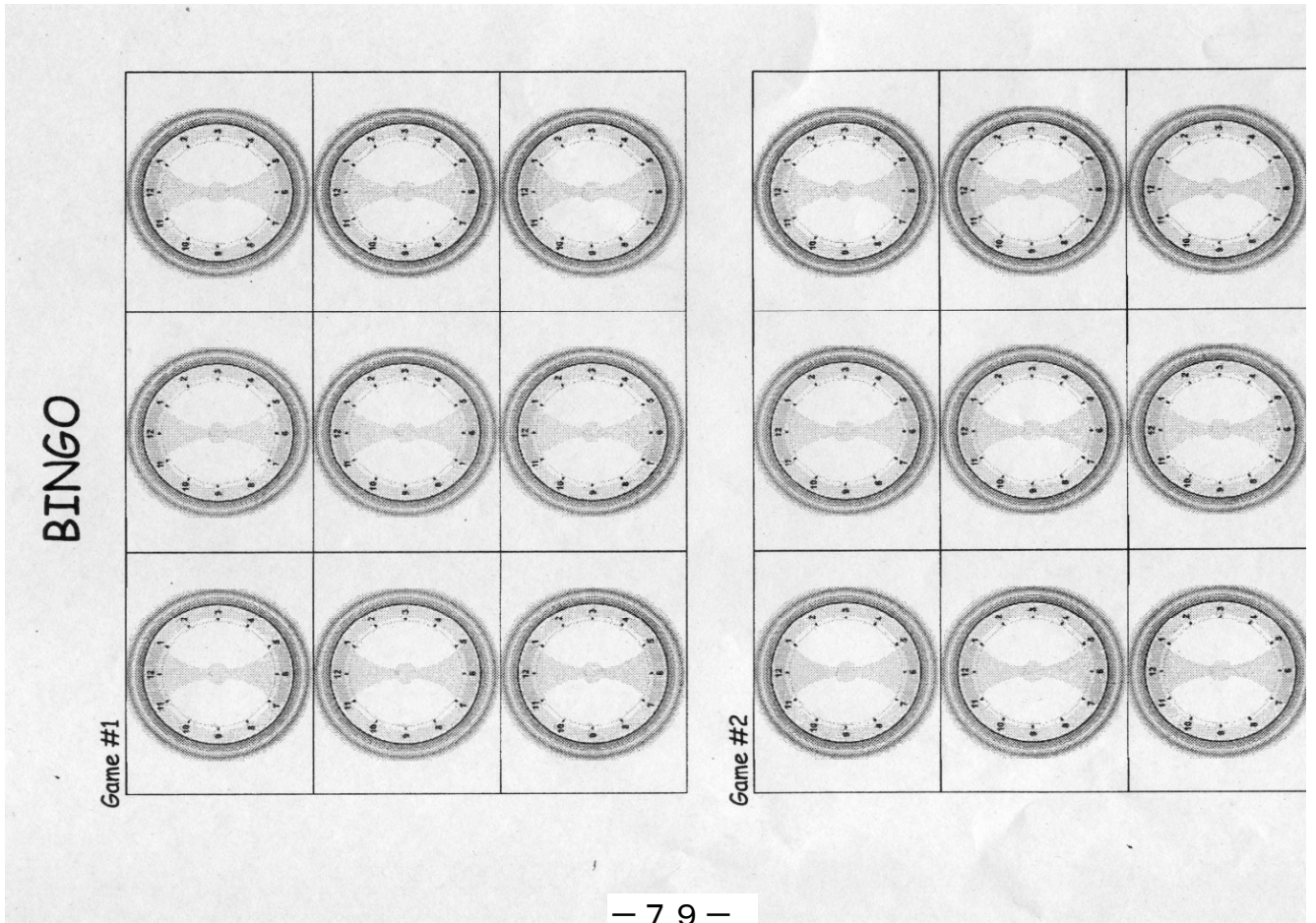
題材名 「What time is it?」

配時	学習活動及び内容	支援と評価※評価	
		HRT	ALT
3	1 あいさつをする。 Good morning. I'm fine, thank you. And you?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人と明るくあいさつをする。 Good morinig. How are you?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人とあいさつをする。 Good morning. How are you?</li> </ul>
5	2 Warm-up (1)Hello song を歌う。 (2)criss-cross をする。 “How's the weather?” “What day is it?” (3)最後に残った1列の児童全員が自己紹介をする。 My name is ○○. I like ○○. I don't like ○○.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かしながら児童と一緒に、歌う。</li> <li>・つまづいている児童にヒントを与える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既習事項を使った質問をする。</li> <li>・自己紹介の例を示す。</li> </ul>
3	3 “o'clock” の言い方について知る。 1時から12時までの言い方についてフラッシュカードを見ながら練習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTの後に続いて児童と一緒に大きな声で練習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・“1 o'clock” のフラッシュカードを“1” “o” “clock” の3つに分けて、リズムカルに提示する。</li> </ul>
3	4 “What time is it?”の意味と言い方について知る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTの後に続いて児童と一緒に大きな声で練習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイヤモンドを黒板に書き，“What time is it?”の読み方と意味を1語ずつ確認する。★(資料1)</li> </ul>
5	5 QAをする。 (1)ALTに質問する。 C: What time is it? T: 1 o'clock. (2)グループAとグループBに分かれて、質問し合う。 CA: What time is it? CB: 8 o'clock.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と一緒にALTに質問する。</li> <li>・グループAに入って質問したり、答えたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の質問に答える。</li> <li>・グループBに入って、質問したり、答えたりする。</li> </ul>
3	6 “What time is it song”を歌う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と一緒に元気に歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童と一緒に元気に歌う。</li> </ul>
20	7 ビンゴゲームをする。 (1)ビンゴカードに時間を記入する。 (2)ALTの持っている2枚のカードから1枚を選ぶ。 (3)2ビンゴになったら手を挙げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童の様子を観察し、カードにまだ記入ができていない児童に助言する。</li> <li>★ワークシート(資料2)</li> <li>※ALTが言った時間を聞き取ろうとし、ゲームを楽しむ。(観察・ワークシート)</li> <li>・児童に元気にあいさつをする。 See you. Thank you.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フラッシュカードを隠して児童に選ばせる。</li> <li>・ビンゴした児童にステッカーをあげる。</li> </ul>
3	6 あいさつをする。 See you next time. Thank you.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に元気にあいさつをする。 See you. Thank you.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ See you. Next time. Thank you very much.</li> </ul>

(資料1) ダイヤモンドマーク



(資料2) ワークシート

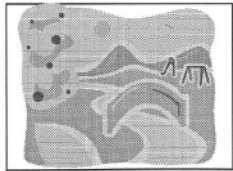
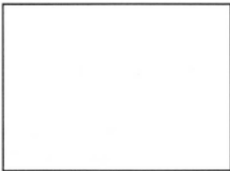
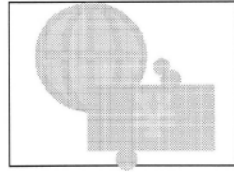
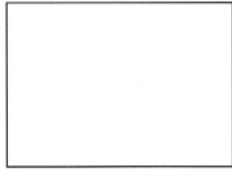
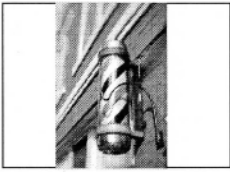
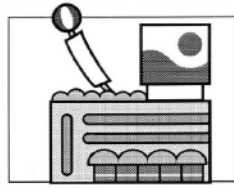
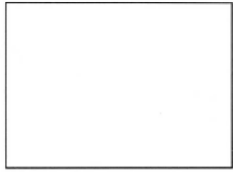
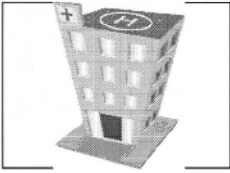


題材名 「Places and Directions (道案内をしよう)」

配時	学習活動及び内容	支援と評価※評価	
		HRT	ALT
3	1 あいさつをする。 Good morning. I'm fine, thank you. And you?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人と明るくあいさつをする。 Good morinig. How are you?</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童一人一人とあいさつをする。 Good morning. How are you?</li> </ul>
5	2 体を動かしながらチャンツ”Where is the station?”を言う。 Where, where, where is the station? Go straight. Go straight. Go straight. Turn right. Here, here, here is the station.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体を動かしながら児童と一緒に、ALTの後に続いて言う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵カードを見せながら、チャンツを言う。テンポ良く既習の単語を復習する。</li> </ul>
15	3 道案内の表現を使ったゲームをする。 ①グループで道案内をする。 ・建物カードを机の上に置き、町を作る。 ・グループのうちの一人が先生からカードを1枚もらい、その場所を他の児童に訪ねる。 S1: Where is the school? S2~4: Go straight. Turn right. Here is the school.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTと一緒にデモンストレーションをする。</li> <li>・児童の様子を観察し、つまづいているグループがあったら一緒に活動する。</li> </ul> <p>※方向や動きを指示する英語を使って、相手に目的場所を教えたり、案内された通りに行こうとしたりする。(活動の様子)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動の内容を説明し、JTEと一緒にデモンストレーションをする。</li> <li>・カードを児童に渡す。</li> <li>・2枚目、3枚目のカードを取りにきたグループを称賛したり、遅れているグループを励ましたりし、児童の意欲を高める。</li> </ul>
15	②ペアでオリジナルマップを作る。 ・ワークシートに地図記号を書く。 ・ペアの児童に尋ねながら、相手の作った地図をそれぞれ完成させる。 S1: Where is the park? S2: Go straight. Go straight. Turn left. Here is the park. S1: Thank you. S2: Where is the hospital?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTとデモンストレーションをする。</li> <li>・つまづいているペアがあったら、助言する。</li> </ul> <p>★ワークシート(資料1, 2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゲームの内容を説明し、JTEとデモンストレーションをする。</li> <li>・児童の様子を観察し、褒めたり励ましたりする。</li> </ul>
5	5 自己評価をする。	<p>※英語でコミュニケーションすることを楽しむ。(自己評価カード)</p>	
2	6 あいさつをする。 See you next time. Thank you.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に元気にあいさつをする。 See you. Thank you.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童に元気にあいさつをする。 See you. Next time. Thank you very much.</li> </ul>

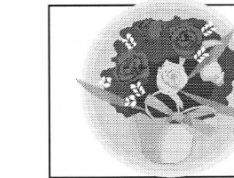
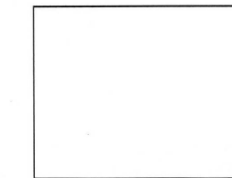
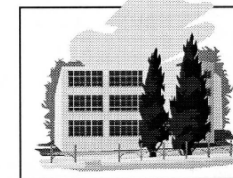
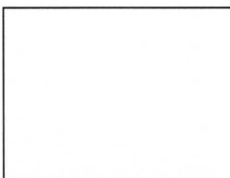
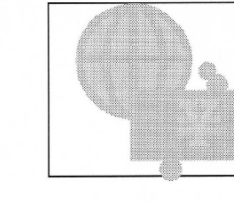
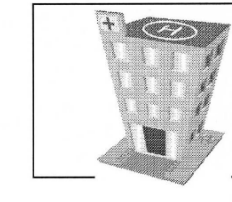
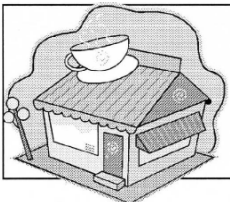
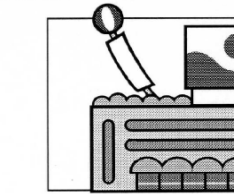
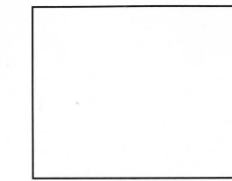
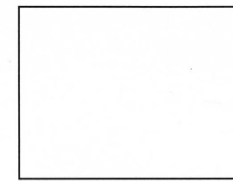
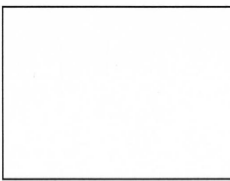
# City Map ①

name \_\_\_\_\_



# City Map ②

name \_\_\_\_\_





黒内小学校 第3学年外国語活動案

指導者 HRT 小島 靖子  
ALT Anthony Schulz

題 材 名 様子を伝えよう (形容詞)

時間	学習内容・内容	教師の支援 ※は評価	
		HRT	ALT
3 3 3	1 はじめのあいさつをする。 Stand up, please, What day is it? What month is it?, When is your birthday? など	<ul style="list-style-type: none"> <li>一緒に活動し、楽しく学習する雰囲気を作る</li> <li>聞き取れなかった児童の支援をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>率先して明るく元気な声で行い、学習への意欲を高めるようにする。</li> <li>教室内を回りながら元気に歌い、楽しい雰囲気を作る。</li> </ul>
3 3	2 「月の歌」を元気に歌う。 3 スペルさがしをする。 ・絵が表している正しいスペルを見つけ、アルファベットに親しむ。	<ul style="list-style-type: none"> <li>困っている児童を見つけ、一緒にスペルさがしをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童が正しい答えを見つけたかどうか確かめる。</li> </ul>
3 5	4 様子を表す言葉の言い方を復習する。 ・フラッシュカードを見ながら、ALTの発音を真似して言う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>一緒に発音する。</li> <li>聞き取れなかった児童のそばで声を出すようにする。</li> <li>方法が分からない児童に日本語で説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の様子を見て、カードを進めていく。戸惑う様子が見られたら、何度か繰り返すようにする。</li> <li>ゲームの方法を説明する</li> </ul>
10	5 「どの猫ですか？」ゲームをする。 ・2人で協力して行う。 ・猫シートから、ALTの示す猫を探す。 ・見つけたら挙手をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTの話す言葉を児童のそばで繰り返す。</li> <li>練習の方法をALTと見本を示す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>猫の様子が分かるようにゆっくりと形容詞の言葉を言う。</li> <li>練習の方法をHRTと見本を示す。</li> </ul>
15	6 2人組で形容詞の言い方を練習する。 ・隣同士で ・ちがう相手と ・big, small, sad, happy	<ul style="list-style-type: none"> <li>相手がいない児童と一緒に行う。</li> <li>意欲的な児童を賞賛する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>机間指導し、戸惑っている児童に見本を示す。</li> <li>これまでに練習してきた形容詞をはっきりと児童に伝えるように話す。</li> </ul>
3	7 全員で「どの先生ですか？」ゲームをする。 ・他校のALTに名札をつけて立ってもらおう。 ・ALTがその中の一人を形容する。 ・児童はどの先生か答える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞き取れない児童のそばで支援する。</li> </ul> <p>※ゲームを通してALTや友達と楽しくコミュニケーションをとろうとしている。A-①</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>楽しくゲームができるような雰囲気作りをする。</li> </ul>
	8 終わりのあいさつをする。 ・「グッバイソング」を歌う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>元気に一緒に歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一緒に歌い、挨拶をする。</li> </ul>

スペルさがしをして  
アルファベットに親しむ様子



見つけられたごほうびに  
シールをもらいます



2人組で言い方の練習をしました



「どの先生ですか？」ゲーム



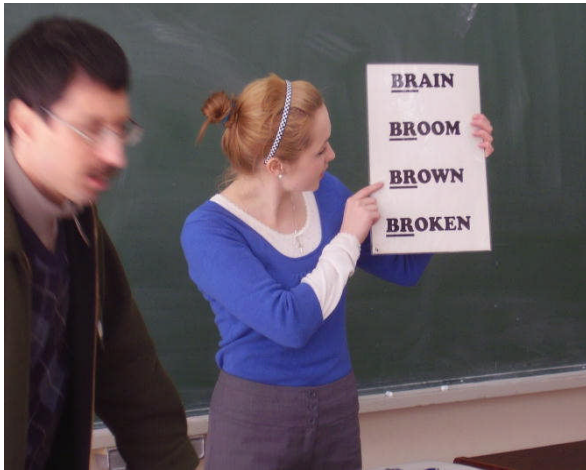
緊張しながらがんばりました

題材名 「 自分に関する質問に答えよう 」

時間	学習活動・内容	教師の支援	
		HRT	ALT
2	1 挨拶をする。 ・日直の号令で挨拶する。 ・パスポートを受け取る。	・一緒に元気に挨拶するようになる。 ・名前を呼ばれたら、大きい声で返事するよう支援する。	・明るく元気な声で行い、学習の意欲を高めるよう配慮する。
3	2 月の歌を歌う。 ・立って元気に歌う。	・一緒に楽しく歌う。	・歌のCDをかけて、一緒に歌う。
10	3 ウォームアップとして世界一周ゲームをする。 ・始める前に練習する。 ・キャロライン先生と競いながらゲームをする。	・ゲームが難しそうな児童に寄り添って支援する。	・発音を聞き、カードの何番の言葉かを言い当てる。(資料1) ・アンソニーがカードを示し、キャロラインが児童と競いながらゲーム
8	4 一人一人の情報についての質問に答える。 ・答えがわかったら、手を挙げて指名を受けて答える。 a.名前 f.血液型 b.住所 g.誕生日 c.親友 h.体重 d.身長 i.腕の長さ e.トップスピード j.年齢	・手が挙がらない児童に寄り添い、ヒントをあげるなど支援を行う。 ・簡単に答えられそうな質問については、発表できるという自信を持たせたい。	・ムを行う。(資料2) ・コミュニケーションの喜びを味わわせるようにする。 ・決まった児童に偏ることなく、できるだけ多くの児童を指名するように心がける。
20	5 台風ゲームをする。 ・6グループに分かれ、1名ずつ順に前に出る。 ・4で練習した質問の中から出される質問に一番早く答えた児童が台風カードを選ぶ。 ・カードの点数をチームの点数とする。 ・時間の許す範囲で、できるだけ多くの回数を行う。	・ゲームのやり方がわからないでいる児童に対して日本語で助言を行い、自信を持って参加できるように支援する。 ・約束を守って楽しくゲームができるような雰囲気作りをする。	・ゲームのやり方を日本語を交えて説明し、活動意欲を高める。 ・一番早く手を挙げる児童は誰なのかを、注意深く見て指名する。(資料3) ・ゲームの最後に、賞賛の意味を込めて全員にシールを挙げる。(資料4)
2	6 挨拶をする。 ・日直の号令で挨拶する。 ・英語で挨拶をする。 ・パスポートを返す。	・児童と共に大きな声で挨拶を行い、次の授業にも頑張るよう励す。	・大きな声であいさつを行い、本時の活動に対して賞賛する。

(資料1)

(資料2)



### 世界一周ゲームの練習

アンソニーの発音を聞き、四つのうちのどの単語なのかを言い当てます。似ている単語を集めているので、集中力が必要です。

素早く正解を言い当てることのできる児童も結構います。繰り返すことで“聴く”力が養われます。



### 世界一周ゲームの実際

アンソニーが示したカードを見て、児童とキャロラインが競いながら言い当てます。

キャロラインは、この日初めてだったので、慣れている児童にリードされる場面もありました。

### (資料3)



### 台風ゲームの実際

チームの得点がかかっているのです、どの児童も真剣です。指名するに当たって、一番早く手を挙げる児童は誰なのかを、注意深く見て判断しなければなりません。

挙手が同時ということも度々あり、じゃんけんで決めることもあります。

### (資料4)



### 台風ゲーム得点計算の様子

一番速く手を挙げて正解を答えた児童(チーム)は得点を貰います。当日はアンソニーが出題と判定を行い、キャロラインが得点計算をしました。

点数制にすることによって、児童の意欲が高まっていると言えます。

1 単元名 How many ～ ?

2 本時の学習

(1) 目標

ハロウィーンに関係のあることばを知ることによって、外国の文化に興味をもとうとしたり、数を尋ねたり、数を答えたりするゲームを通して、楽しくコミュニケーションを図ろうとしたりする。

(2) 準備・資料

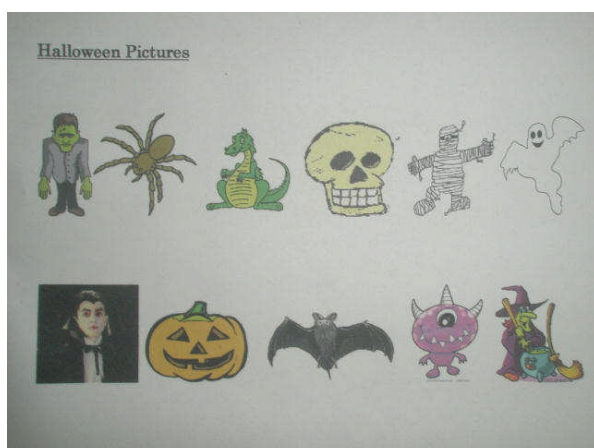
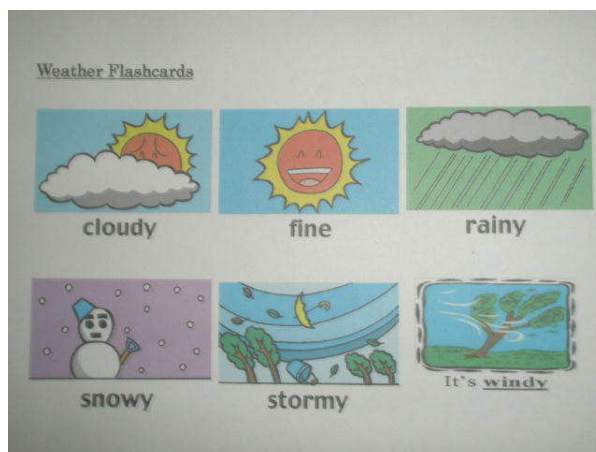
ピクチャーカード, ワークシート

(3) 展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価	
	ALT	HRT
1 あいさつ・Q&Aを行う。 Good morning. How are you? Are you ～ ? How's the weather? (★資料1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体に対して挨拶する。</li> <li>体調の表現の仕方, 天気の表現の仕方のパターンを確認した後, 児童に質問する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HRT自らが大きい声で挨拶をすることで模範を示す。</li> <li>ALTの質問に答える。</li> <li>英語を話すことに対して消極的な児童の支援にあたる。</li> </ul>
2 ウォームアップのゲームを行う。 (1) ALTとHRT, 代表の児童2人ででデモンストレーションを行う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>一人一枚天気のカードを持つ。</li> <li>じゃんけんをする。</li> <li>勝った方がお天気を尋ねる。                          A: How's the weather?                          B: It's ～.</li> <li>同じカードの持ち主を見つけたら腕を組んで一緒になる。</li> <li>さらに同じカードの持ち主を探す。</li> </ul> (2) ゲームを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>カードは誰にも見せないことを確認する。</li> <li>日本語で仲間を探すのではなく英語で探すことを確認する。</li> <li>同じカードを持つ児童は複数(4～5名)いることを伝える。</li> <li>児童とともにゲームに参加する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTと共にデモンストレーションを行う。</li> <li>ルールの説明を日本語で補足する。</li> <li>児童と共にゲームに参加する。特に, 自分から友達に声を掛けられないでいるのところにいけずにいる児童に声を掛けるようにする。</li> </ul>
3 ハロウィーンさがしゲームをする。 (1) ハロウィーンに関係のある単語を知る。(★資料2・3) (2) 20までの数の言い方・数を尋ねる表現を確認する。 “How many ～ ?” (3) 児童を6つのグループに分ける。 (4) ALTの言うハロウィーン関係の絵が何枚あるか, 制限時間内に探し, その数をワークシートに記入する。(★資料4) (5) 答え合わせをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ピクチャーカードを見せながら単語の発音のモデルを示す。</li> <li>ワールドルーム内, 廊下, お話コーナーのあらゆるところに絵があることを告げる。</li> <li>何問か出題し, グループ内の児童が交代でワークシートを持ってリーダーになるように伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一度にたくさんの単語が出てくるので, 発音が分かりにくい単語に関しては発音の補助を行う。</li> <li>ルールの説明を日本語で補足する。</li> <li>グループで協力し合って探すことを確認する。</li> <li>児童の様子を見て絵を探し出すヒントを与える。</li> </ul>
4 本時のまとめをする。	(評) ゲームを通して, 友達やALTと楽しくコミュニケーションを図ろうとしている。(観察) ・本時に使った表現の確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と共に元気にあいさつし, 次時の活動への意欲付けを行う。</li> </ul>
5 あいさつをする。		

## 資料1 →

お天気カード  
フラッシュカード用の大きいサイズと、ウォームアップゲーム用の小さいサイズがある。



## ←資料2

ハロウィーンに関係のあることばのフラッシュカード用のイラスト。

## 資料3 →

ハロウィーンに関係のあることばを練習中。  
ALT自身も頭に角をつけて雰囲気を出している。



## ←資料4

ワールドルームの廊下の様子。  
ワールドルーム内だけでなく、廊下の壁のあちこちに資料2のイラストが複数貼ってあり、児童は必死に探し回っている。

## 1 単元 How many ～ ?

## 2 本時の指導

## (1)目標

数を尋ねたり，数を答えたりするゲームを通して，友達やALTと楽しくコミュニケーションを図ろうとする。

## (2)準備・資料

ピクチャーカード・消しゴム

## (3)展開

学習活動・内容	指導上の留意点・評価	
	ALT	HRT
1 あいさつをする。 Good morning. How are you? I'm__.	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体に挨拶をする。</li> <li>まず児童が教師に質問し，次にALTが児童に質問する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HRT自らが大きい声で挨拶をすることで模範を示す。</li> </ul>
2 ウォームアップのゲームを行う。 ・1から30までの数の言い方を確認する。(★資料1) ・ゲームのやり方を知る。 ・ペアになり，2人の間に消しゴムを一つ置く。ALTが言う数字を繰り返す。ALTがキー・ナンバーを発音したら繰り返さず，消しゴムをとる。 ・何度か繰り返し，このゲームを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>キー・ナンバー・ゲームをすることを告げる。</li> <li>児童に後について言うようにジェスチャーで示す。</li> <li>数字はランダムに言い，キー・ナンバーを言ったら，消しゴムをとるジェスチャーをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ルールの説明を日本語で補足する。</li> <li>キー・ナンバーはHRTが発表する。</li> <li>この活動を通して，児童に数を何度も聞かせたり機械的に発音したりする機会を与え，数の言い方に慣れ親しませるようにする。</li> </ul>
3 How many__?の言い方を知る。 (1)HRTとALTの会話を聞く。 (2)児童も会話に参加して英語表現に慣れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>HRTと交互に「いくつあるか」質問しあう。</li> <li>だんだんと児童にも質問をするようにし，会話に入らせる。</li> <li>児童がHRTに対して，「いくつあるか」特定のものについて質問するよう指示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTと交互に「いくつあるか」質問しあう。</li> <li>学習活動に積極的に参加できるように，教室にあるものや普段聞かないような内容で話題がおもしろくなるようにする。</li> </ul>
4 動物園リレーゲームを行う。 (★資料2) (1)6チームに分かれ，列になる。 (2)各列の一番後ろの児童に動物が描かれたカードを配布する。(★資料3) (3)各列の一番前の児童は，ALTから動物が何匹いるか質問を受ける。 (4)伝言ゲーム形式で質問を後ろに伝えていく。 (5)一番後ろまで質問が伝わったら質問された動物の数を数え，答えを前に伝えていく。 (6)一番前の児童まで伝わったら，ALTに答えをささやく。 (7)それぞれの児童がすべての役割を経験するまでゲームを行う。 (★資料4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>動物園リレーゲームをすることを告げる。</li> <li>動物の名前は前時の授業で教えておく。</li> <li>伝言の伝わる様子を観察して，滞っているところに行き，必要に応じて英語表現やゲームの仕方を確認する。</li> </ul> <p>◎数を尋ねたり，数を答えたりするゲームを通して，友達やALTと楽しくコミュニケーションを図ろうとしている。(行動観察)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の様子を見て日本語で補足を行う。</li> <li>日本語ではなく英語で質問するようにさせる。</li> <li>ゲームの運営を助け，得点をメモする。</li> <li>得点は正しい答えを出したチームにだけ入れる。</li> </ul>
5 あいさつをする。 Thank you. Good-bye.	<ul style="list-style-type: none"> <li>あいさつをする。 Thank you. Good-bye.</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と共に元気にあいさつし，次時の活動への意欲付けを行う。</li> </ul>

## 資料1→

数の練習中。低学年は段階を踏んで20までの数を，中学年から高学年は100までの言い方を教わる。  
(写真は1年生のもの)



## ←資料2

動物の言い方の練習中。約30種類の動物の表現に繰り返し触れてきた。

## 資料3→

動物園リレーゲームの資料。  
ALTのオリジナルの資料。数種類の動物の写真や絵がランダムに複数載っており，数を数えるのはとても大変。



## ←資料4

動物園リレーゲームの答え合わせ中。資料3の絵の中から，ALTの言った動物が何匹いるか数え，その数が合っていればポイントになる。



郷州小学校 第2学年 外国語活動案

授業者 HRT 川村 修平

ALT Peter Traylor

題材名 「動物園に行こう」

(◎…評価 〈手立て〉…C評価児童への支援)

時	活動・内容	支援・評価	
		HRT	ALT
5	1 名札を受け取り、はじめのあいさつをする。 “Good morning!” “How are you? / I’m~.” “Let’s sing a song.” –BINGO–	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と一緒に発音したり、歌ったりすることにより、児童が大きな声を出せるように促す。</li> <li>◎進んで英語であいさつをしたり、歌ったりしているか。(声・表情) 〈手立て〉近くにいき、一緒に声を出しながら安心感を与える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日直の児童とともに始めのあいさつをする。スムーズな進行のため、日直の児童を助ける。</li> </ul>
10	2 前時までの活動を振り返る。 ・動物の名前の言い方を確かめる 使用する動物名 Dog Pig Duck Cat Elephant Lion Cow Sheep	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTの説明で分かりにくいところがあれば補足する。</li> <li>児童と一緒に本時の活動で使う動物名を発音する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵カードを提示し、前時までに使った表現を確かめながら発音する。</li> <li>積極的に大きな声で発音できた児童を賞賛する。</li> </ul>
27	3 ゲームをする。 (1) 4～5人のグループに分かれる。 (2) 「動物かるた」をする。 ・絵カードを広げ、ALTの言った動物のカードを取る。 (3) 「動物すごろく」をする。 ・すごろくのやり方を知り、ルールを守りながら活動する。 ・動物の名前や動作・鳴き声が思い浮かばない時には、手を挙げ、ALT・HRTにヒントをもらう。 すごろくのルール ・ジャンケンで順番を決める。 ・サイコロを振り、出た目の数だけこまを進める。 ・何もかいていないマスに止まったら、カードを引く。カードにかかれた動物の鳴き真似・動作のまねをし、当ててもらったら、引いたカードをもらう。 ・指示がかかれたマスに止まったら、指示に従う(1回休み、2マス進む、2マス戻るなど)。その後、何もかいていないマスと同じことをする。 ・早くゴールした人が勝ち。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTとかるた・すごろくのやり方を説明し、見本を示す。</li> <li>動物名や動作・鳴き声が思い浮かばない児童は、「Help me!」とHRTを呼び、表現の仕方を聞くことができると知らせることにより、ゲームで英語表現を使わせ、充実感が味わえるようにする。</li> <li>◎積極的にすごろくに参加し、動物の名前を言うことができたか。(声、動作) 〈手立て〉児童の隣で一緒に声を出しながら、楽しさを味わわせる。</li> <li>グループを回り、ゲームの進行を見守ったり、声をかけたりする。</li> <li>協力してゲームの片づけができるよう促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>HRTとかるた・すごろくのやり方を説明し、見本を示す。</li> <li>ゲームに楽しく参加すること、日本語ではなく英語を使ってゲームに参加することを指示する。</li> <li>グループを回り、ゲームの進行を見守ったり、声をかけたりする。</li> <li>ゲームを終える時間になったら、CDで曲を流し、終わりの時間になったことを知らせる。</li> </ul>
3	4 本時のまとめと終わりのあいさつをする。 ・「listen」「try hard」「speak English」の3つのポイントで活動を振り返る。 ・終わりのあいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>はじめの隊形に並び替えることを知らせる。</li> <li>ALTのコメントを補足し、よかったところを賞賛する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>3つのポイントについて、良かったところについてコメントする。</li> </ul>

(資料1) 提示用動物絵カード (一部)



(資料2) 動物すごろくカード



(資料3) 児童用動物絵カード (一部)



(資料4) 「動物すごろく」の様子



## 郷州小学校 第5学年 外国語活動案

授業者 HRT 宮崎 寛子

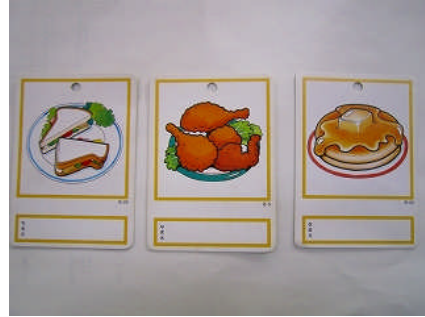
ART Peter Traylor

題材名 「レストランに行こう」

(評…評価 <手立て>…C評価児童への支援)

時	活動・内容	支援・評価	
		HRT	ALT
2	1 はじめのあいさつをする。 “Please stand up.” “Good morning.” 等	・児童と一緒に元気にあいさつをすることで模範を示す。	・日直の児童とともにはじめのあいさつをする。日直の児童を支援する。
5	2 あいさつを交わしながら、友達から名札を受け取る。 A: “Good morning! How are you?” B: “I’m great / ok / sick.” etc… A: “Here you are.” B: “Thank you.”	・名札を渡す担当の児童を意図的に指名する。 ・児童の傍で助言するとともに、待機している児童には静かに待つよう伝える。	・代表児童と共に模範を示す。 ・児童の近くで助言をしながら、うまくコミュニケーションをとれた児童を賞賛する。
1	3 本時の活動内容を知る。 「Let’s go to the restaurant !」 (レストランに行こう)	・本時の活動内容を板書し、目的意識をもたせる。	・レストランでの英語表現について知ることを伝える。
5	4 ウォームアップのゲームを行う。 「Snap Snap」(資料1) ・テーマに沿った単語を一人につき一つ決め、手拍子を挟みながら、自分の単語と誰か他の人の単語を言って次の人へと続けていく。 (本時のテーマ：食べ物)	・必要に応じて日本語で説明を補足する。 ・グループを回り、必要に応じて助言して、発言しやすい雰囲気作りをする。	・本時に扱う単語を紹介し、発音する。 ・グループを回り、必要に応じて助言したり、上手にできている児童を称賛したりする。
4	5 表現の仕方を確認する。 (1) 料理の名前 (2) “What would you like?” “One hamburger please.”等	・ALT と交代で料理の絵カードを提示する。 ・児童と一緒に本時の活動で使う表現を発音する。	・料理の絵カードを提示しながら前時までに学習した表現を発音する。
2 3	6 Oder Game をする。(資料2～4) ・グループ内で店員役と客役に分かれる。 ・客役は基準となる料理をもとに料理の値段を予想しながら、合計が15ドルに近くなるように注文する。 ・役割を交代し、全チームが注文し終わったら一つ一つの値段を発表する。 ・より15ドルに近く注文できたチームの勝ち。	・ALT と共にデモンストレーションを行いながら、児童の理解状況に合わせて日本語で説明を補足する。  ◎ゲーム等を通して、飲食店での英語表現を使って友達やALT と積極的にコミュニケーションをとっている。(観察)  <手立て>児童の傍で一緒に声を出しながら励まし、取り組みを称賛する。	・HRT と共にデモンストレーションを行いながら、ゲームのルールを説明する。
5	7 本時のまとめと終わりのあいさつをする。 ・「listen」「try」「speak English」の3つの視点で、本時を振り返り、自己評価カードに記入する。 ・終わりのあいさつをする。	・3つの視点から本時を振り返るよう促す。 ・よかったところを称賛し、次時への意欲付けを行う。	・本時の活動でよかった点を称賛する。 ・日直とともに終わりのあいさつをする。

(資料1) ウォーミングアップゲーム「Snap Snap」の様子及び使用カード(一部)



(資料2) 「オーダーゲーム」のメニュー表

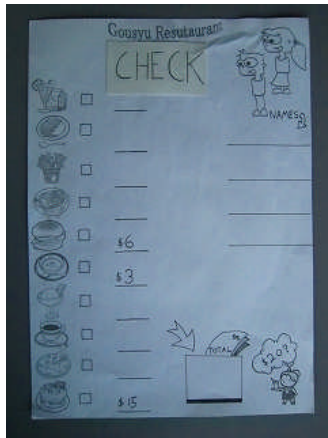


(表紙)



(中身)

(資料3) 「オーダーゲーム」のワークシート



(資料4) 「オーダーゲーム」の様子



松前台小学校 第2学年1組外国語活動案

授業者 HRT 小林 道子  
ALT Kevin Davies

題材名「家ぞくをしょうかいしよう」

時間 (分)	活動 形態	活動内容	(○は評価)	
			教師の支援 (HRT)	教師の支援 (ALT)
5	一斉	1 始めのあいさつをする。 2 あいさつをする。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">Hello. How are you?</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>CDの準備をする。</li> <li>答え方が分からない児童へ、答え方を教える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語であいさつする。初めはナチュラルスピードで行う。聞き取れてない場合、もう一度ゆっくり言う。</li> </ul>
5	個人	3 友達とあいさつをする。 5人の友達とあいさつをしたら、着席する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の中から5人を選び、ミニティーチャーとする。</li> <li>自分から行けない児童や話し方が分からない児童の支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と簡単な会話をする。</li> <li>児童によって話すスピードを変える。</li> </ul>
5	一斉	4 “Left And Right” の歌を歌う。 (資料1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>CDをかける。</li> <li>歌いながら、体を動かす。自信が持てない児童のそばに行き、一緒に歌い、安心させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一つ一つの言葉と動きを確認してから始める。</li> <li>中央で、動作をつけて楽しく歌う。</li> </ul>
7	グループ	5 家族を表す単語を練習する。 (資料2)  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">daddy mom brother sister grandmother</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTとともに手本を示す。</li> <li>進んでダンスゲームに参加できない児童の支援をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絵カードを使って、家族を表す単語を知らせる。</li> <li>楽しいダンスゲームで繰り返し練習することで言い方に親しませる。(資料3)</li> </ul>
10	グループ	6 ALTの発音を聞いて、カードを取る。 (資料3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTとともに手本を示す。</li> <li>ルールを守って意欲的に活動できるように助言したり、一緒に活動したりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語でゲームの説明をする。</li> <li>児童と共にゲームを行う。</li> </ul>
			○ALTの話をよく聞いて、ゲームをしようとしているか。(観察)	
8	グループ	7 カードゲームをする。 カードをひいて、新しい言葉を覚えながら、同じカードをひく。 (資料4)	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童がやり方を理解できたかどうか確認し、必要に応じて説明する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語でゲームの説明をする。</li> </ul>
5	一斉	8 本時のめあてを確認して、ふりかえる。 9 終わりのあいさつをする。 10 ポイントカードにスタンプをもらう。(資料5)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時のめあてを板書事項に合わせて、ふりかえさせる。</li> <li>並ばせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポイントカードにスタンプを押す。</li> </ul>



資料1 「“Left And Right” の歌を歌っているところ」



資料2 「家族を表す単語を練習」



資料3 「ALTの発音を聞いているところ」



資料4 「カードゲームをしているところ」



資料5 「外国語活動の名札に入れてあるポイントカード」  
聞くこと・話すこと・活動の様子をポイントにして、スタンプを押してもらう。

松前台小学校 第5学年2組外国語活動案

授業者 HRT 大堀 玲子  
ALT Kevin Davies

題材名「数で遊ぼう」

時間 (分)	活動 形態	活動内容	(○は評価☆言語活動)	
			教師の支援 (HRT)	教師の支援 (ALT)
5	一斉	1 ハローソングを歌う。 2 あいさつをする。  Hello. How are you? What day is today? What is the date today? How is the weather today?	<ul style="list-style-type: none"> <li>CDの準備をする。</li> <li>答え方が分からない児童へ、答え方を教える。</li> <li>☆知っている英語を使って積極的に話しかけられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語であいさつする。初めはナチュラルスピードで行う。聞き取れてない場合、もう一度ゆっくり言う。</li> </ul>
5	個人	3 ミニティーチャーと話す。 5人の代表を児童の中から選び、ミニティーチャーとする。全員がミニティーチャーと簡単な会話をする。5人+ALTと話したら、着席する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の中から5人を選び、ミニティーチャーとする。</li> <li>自分から行けない児童や話し方が分からない児童の支援を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童と簡単な会話をする。</li> <li>児童によって話すスピードを変える。</li> </ul>
5	一斉	4 ♪Ten Steps とワールドソングを歌う。 動作をつけて楽しく歌う。 (アメリカ、アメリカ、フランス、中国、ケニア、ドイツ、スペイン、韓国、タイ、インドのあいさつ)	<ul style="list-style-type: none"> <li>CDをかける。</li> <li>数字の言い方がわからない児童のそばに行き、一緒に歌い、安心させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中央で、動作をつけて楽しく歌う。</li> </ul>
10	ペア	5 ラッキー7ゲームを行う 自分が考えた数字を指で示し、出会った相手の数と合わせて7になったら、ハイタッチをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTとともに手本を示す。</li> <li>自分で好きな数字を出せない児童や、自分から話しかけられない児童の支援をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語でゲームの進め方を話す。</li> <li>児童と共にゲームを行う。</li> </ul>
			○様々な友達と関わってゲームをしようとしているか。(観察)	
7	個人	6 漢字画数ゲームをする。 自分が考えた漢字(三画～五画)を英語ノートに書き、出会った友達と同じ画数だったら、相手の漢字をノートに書く。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ALTとともに手本を示す。</li> <li>☆日本の漢字の画数と英語の数の言い方を組み合わせたゲームで体験的にそれぞれの良さを味わうことができるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ゲームの説明をする。</li> <li>児童と共にゲームを行う。</li> </ul>
8	グループ	7 世界の1・2・3を知る。 1・2・3を教えるリーダーから世界の1・2・3の言い方を教えてもらう。  Hello. その国のあいさつ Please teach me. Thank you!	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明の補足をする。</li> <li>ワークシートを配布する。(資料1)</li> <li>リーダーと進め方を確認する。(資料2)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明をする。</li> <li>質問の仕方やあいさつの仕方を確認する。</li> </ul>
			○友達に知っている英語表現を使って積極的に話しかけたり、答えたりすることができる。(観察)	
5	一斉	8 次時の予告を聞く。 9 グッバイソングを歌う。 10 ポイントカードにスタンプをもらう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>次時に使用する絵を黒板に貼る。</li> <li>CDをかける。</li> <li>並ばせる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動作をつけて歌う。</li> <li>ポイントカードにスタンプを押す。(資料3)</li> </ul>

(資料1) 授業で使用したワークシート

ワールドスタンプラリー 国の1・2・3を覚えてもらったら、印(国名)をもらおう!

名前( )

3

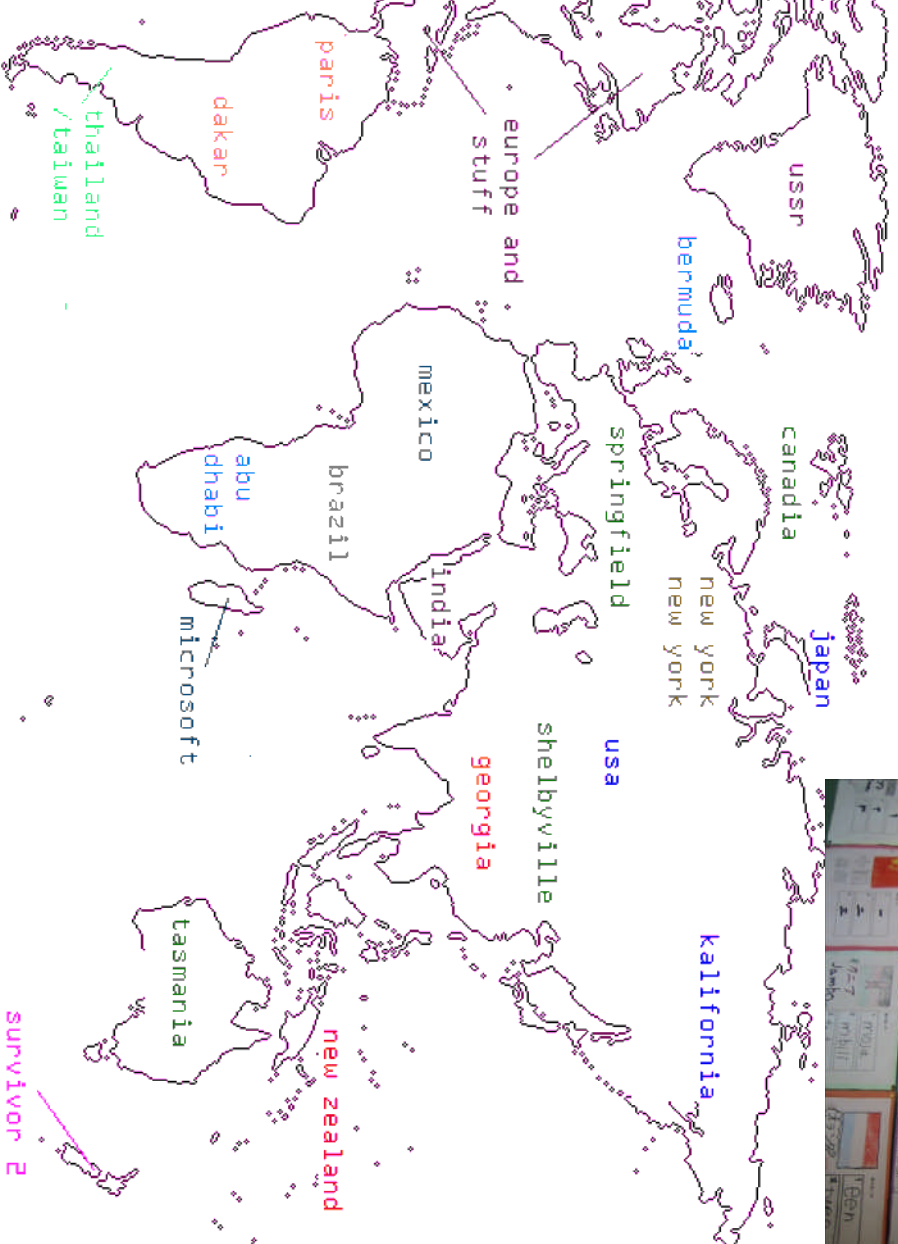
1

2

資料2 児童が作成したカード



資料2 スタンプをもらう様子





題材名 「Halloween (ハロウィン)」

児童の学習活動	教師の支援・援助活動 ◎評価
<p>1 はじめのあいさつをする。 Stand up. Stand nicely. Be quiet. Lesson 3. Let's start. Bow. How is the weather, today? It's sunny. It's cloudy. It's rainy.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ALT,HRT が率先して明るく大きな声であいさつし、児童が元気に行えるようにする。</li> <li>・教師が選んだ2人の児童が Little teacher として、前に出てみんなに天気や日にち等を質問する。</li> </ul> <p>◎進んで挨拶や質問に答えることができたか。 (態度・表情)</p>
<p>2 色の名前が出てくる歌"Rainbow"を歌う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色のカードを黒板に貼り、歌に出てくる色を視覚的に結びつけながら覚えられるようにする。</li> <li>・慣れてきたら、色のカードの順番を換え、歌に変化をつけて楽しく歌えるようにする。</li> </ul>
<p>3 色を表す単語を覚え、練習する。 red, yellow, green, blue, orange, white,black, pink,purple,brown</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・黒板で ALT が色を表す単語を書き、単語の形に注目させながら、発音し、何色かを覚えられるようにする。</li> <li>・つづりに焦点を当てるのではなく、単語全体の形に目を向けるように声かけをする。</li> </ul>
<p>4 覚えた色の単語を使って、"Colouring worksheet"をする。(図1・図2)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絵が印刷されているワークシートを配り、そこに書かれている色の単語に従ってクーピーで色をぬるよう説明する。</li> <li>・自分のペースでぬるよう指示し、分からない単語は教室の英語コーナーにあるヒントを見てもよいことを伝える。</li> </ul>
<p>5 ゲーム"What colour is it?" をする。 (1) 8チームに分かれ、輪になってすわる。 (2) 輪の中に色カードを並べる。 (3) ALT が言った色を素早く取る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一回目は色の面を上にして、二回目は単語の面を上にして並べ、変化をつけて楽しくゲームができるようにする。</li> <li>・なかなかカードが取れない児童には、そばに行って小声でヒントを与える。</li> </ul>
<p>6 色おに"Monster, monster, what colour is it?" をする。 (1) おにを決める。 (2) その他の児童はみんな、おにに向かって"Monster,monster, what colour is it?" と聞く。 (3) おにが答えた色を見つけて触る。 (4) 見つける前におにに触られた人がおにになる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・みんなで大きな声で"Monster, monster, what colour is it?"と聞けるように ALT が言う合図を出し、HRT は児童と一緒に声を出して聞くようにする。</li> <li>・なかなか色が決まらないおにに対しては教室にある色や色のある場所を小声で教える。</li> </ul> <p>◎ゲームに積極的に参加し、友だちと楽しくすごすことができたか。 (声・動作)</p>
<p>7 終わりのあいさつをする。 Stand up. Stand nicely. Be quiet. Lesson 3. Let's finish. Bow.Thank you, Paul sensei. Thank you, Aoki sensei. See you.</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童とともに大きな声で挨拶し、次時の活動への意欲づけを行う。</li> </ul>



图 1

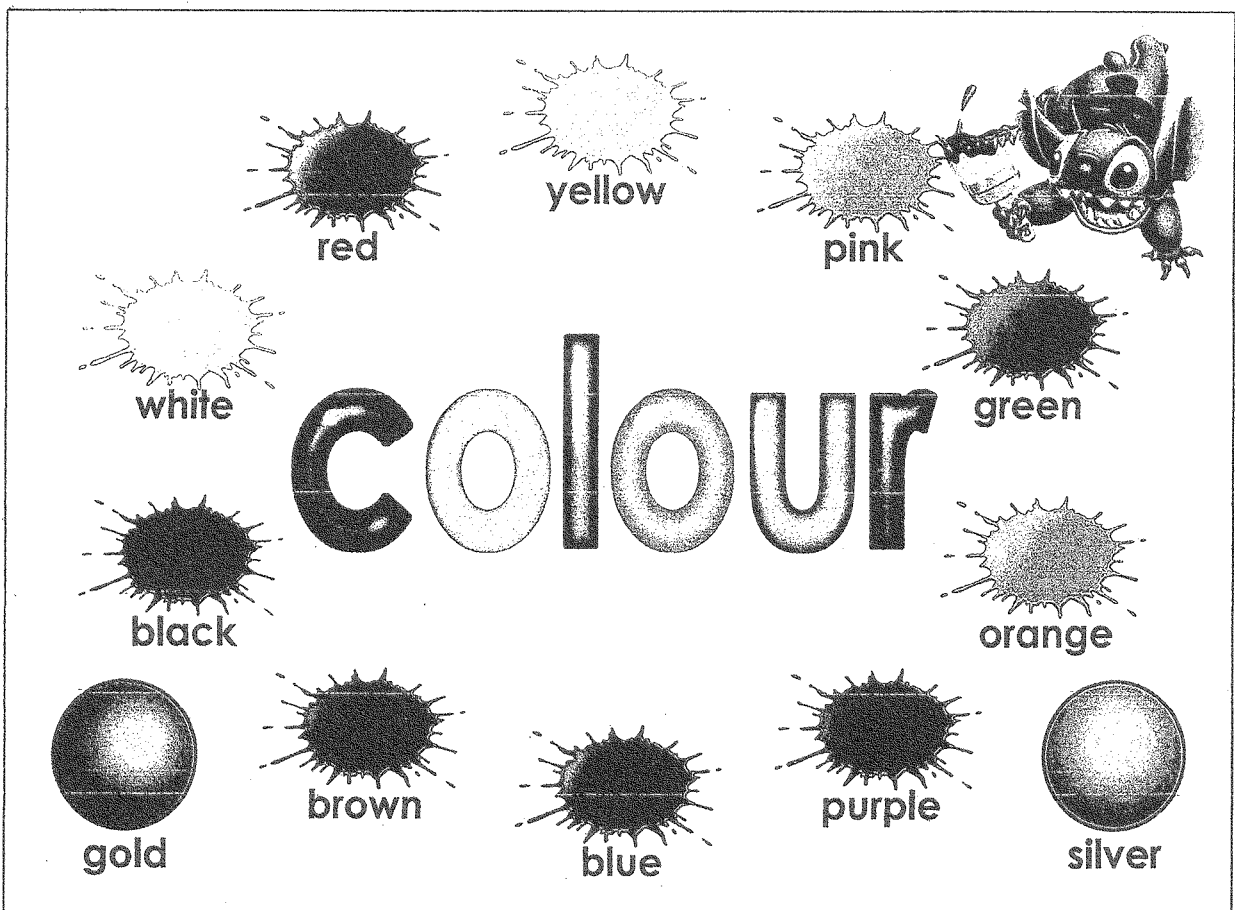


图 2

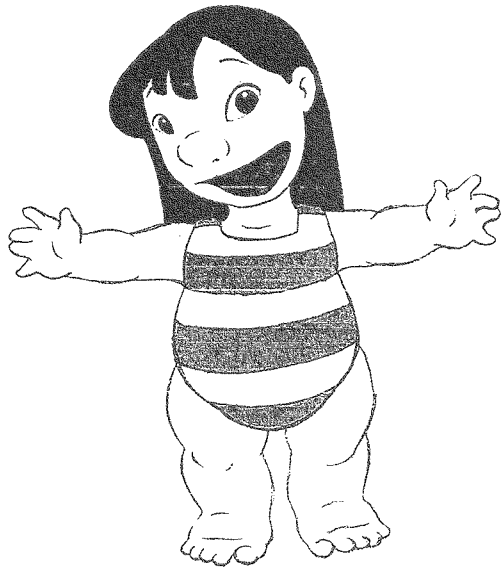
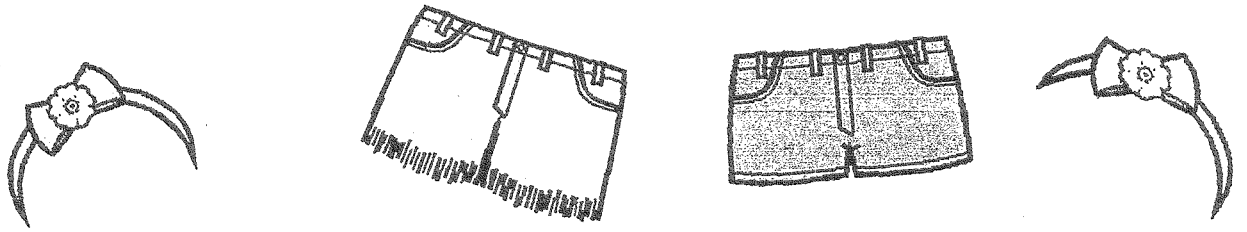
## 松ヶ丘小学校 第3学年外国語活動案

授業者 HRT 荒井 和子

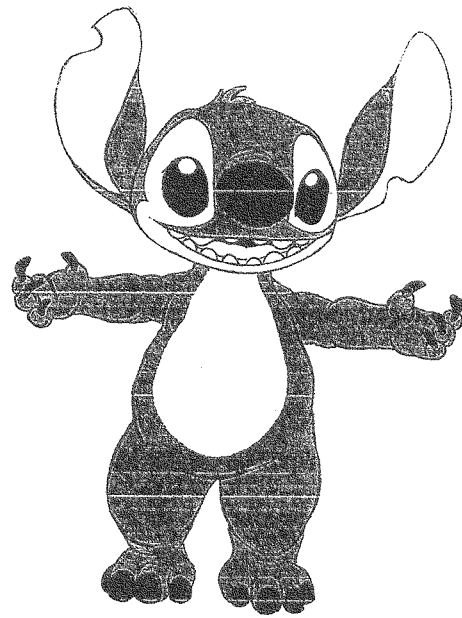
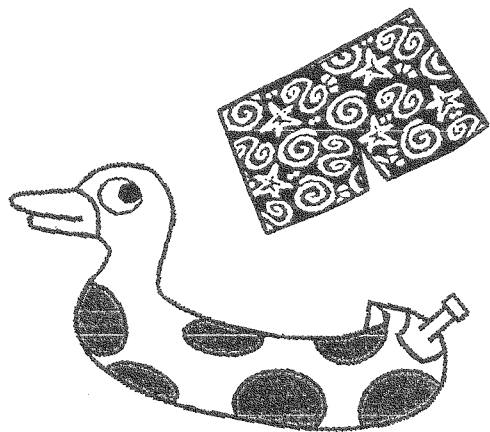
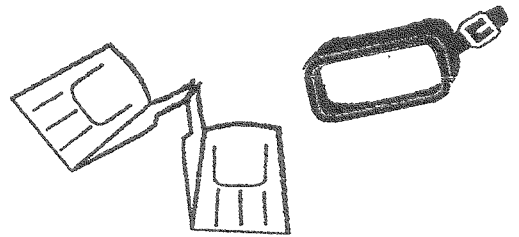
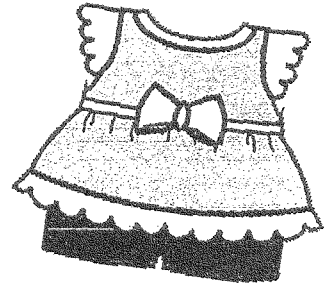
ALT Paul de Giovanni

題材名 「 **Clothes** (服の名前) 」

時間 (分)	学習 形態	学習内容及び活動	教師の支援 ◎評価
2	一斉	1 始めの挨拶をする。 Stand-up, stand nicely, be quiet, let's start, bow.	・元気に挨拶できるように励ます。
5	一斉	2 スタンプカードにスタンプをもらう。 (1) 児童5人が前に出てリーダーになる。 (2) What color is it? と並んだ児童に質問する。 (3) 答えた児童はリーダーにスタンプを押してもらう。	・児童5人を選び、グループのリーダーにする。質問することに戸惑っている児童にはヒントを与えて励ます。  ・並んで待っている児童には、友だちと答える練習をして待つよう声をかける。
3	一斉	3 児童2人が前に出て先生になり、クラス全体に挨拶をする。 'Hello.' 'Good Morning.' 'What's your name?' 'How are you?' 'Do you like_____?'	・ALTは、必要に応じて Little teacher にヒントを出す。  ・HRTは、楽しく活動できるような雰囲気作りをする。
5	一斉	5 歌『The Rainbow Song』を歌う。	・児童と一緒に歌い、明るく和やかな雰囲気を作る。 ・ALTは発音と踊りの手本になり HRTは頑張っている児童を賞賛する。
10	一斉	6 服に関するいろいろな名前や言い方を復習し、繰り返し練習する。 T-shirt, hat, mittens, shorts, skirt, shoes It's a hat. They are shoes.	◎服に関する言葉や言い方に興味を持ち、意欲的に声に出して練習することができたか。 (表情・声の大きさ)
18	8チーム	7 着せ替えゲーム『Lilo and Stitch』をする。(図1) (1) 8グループに分かれてそれぞれ円になって座る。 (2) グループ毎にカードを並べる。 (3) 一人ずつ順番にサイコロをふり、リロやスティッチに服のカードを着せていく。 one → hat (1が出たら帽子) two → shoes three → sunglasses	・友だち同士声をかけ合い、勝敗にとらわれずに楽しく活動できるよう励ます。  ・サイコロをふった後、グループで、 It's a hat. (They are shoes.) と3回発音してからカードをおくよう声をかける。  ◎ゲームに積極的に参加し、友だちと楽しく過ごすことができたか。(動作・声の大きさ)
2	一斉	8 終わりの挨拶をする。 Stand-up, stand nicely, be quiet, let's finish, bow.	・児童と共に大きな声で挨拶し、次時への意欲づけを行う。



**Lilo**



**Stitch**



□ 中学校実践事例 □

守谷中学校 第1学年 英語指導案

指導者 T1 (JTE) 福元 エリ子  
T2 (ALT) Blain Armstrong

1 単元名 Speaking Plus3 電話の会話

2 本時の学習

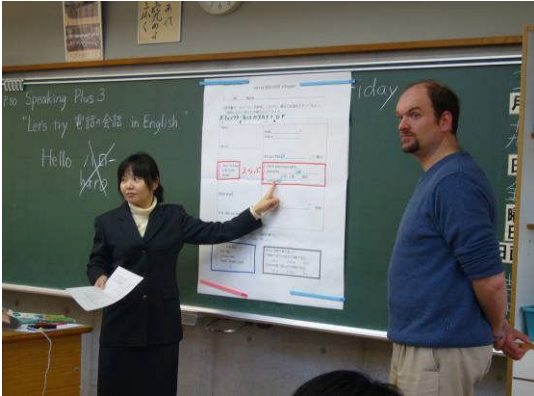
(1) 目標

電話での応答で、相手を招待し合ったり、誘ったりする対話を行うことができる。

(2) 展開

学習内容・活動	教師の指導と評価 (◇は支援の手だて)	
	T1 福元	T2 Armstrong
1 あいさつをする。		
2 warm-up を兼ねてリスニングをする。	・実際に電話でやりとりをする。	・実際に電話でやりとりをする。
3 本時の課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">Let's try “電話の会話” in English</div>	・アンケート結果に触れて、本時の活動が日本国内にも外国人が多く住む現代社会や将来のためにも有用であることに触れておく。	
4 モデル対話を聞く。	・メモを取りながら聞いてもよいことを確認する。 ◇自然な英語に慣れるために、1回目は普通に、2回目は全ての生徒が聞き取れるようにゆっくり話す。	◇自然な英語に慣れるために、1回目は普通に、2回目は全ての生徒が聞き取れるようにゆっくり話す。
5 教科書の内容を確認する。	◇音読では、アクセントやリズムに注意しながら大きな声で発音できるように支援する。	◇机間指導を通して、日本語読みにならないようにイントネーションに注意しながら支援する。
6 スキットを作る。 ・グループを作り発表の練習をする。	◇うまく活動ができない生徒に対して、進め方の助言や積極的に活動へ参加できるよう支援を行う。 ・発表の仕方を分かりやすく説明し、生徒の意欲を高める。	◇より多くの生徒と会話ができるように机間指導をする。
7 スキットを発表する。	◇会話を続けることが難しい生徒には、教科書の本文を読んで会話を続けられるよう支援する。  ㊦電話での応答で、相手を招待したり、誘ったりする対話を行うことができる。 ・生徒が積極的に活動した点を評価、賞賛し、達成感をもてるようにする。	◇会話を続けることが難しい生徒には繰り返し活動を行うことで自信をもたせ、少しずつ会話を続けられるよう支援する。  (観察・ワークシート・発表)
8 本時のまとめと次時の予告を聞く。	・本時の学習の理解度や、コミュニケーション活動への取り組みを振り返らせる。	・生徒の学習に対する取り組みを賞賛するとともに、外国で生活する場合に役立つ情報を知らせ、視野を広めて欲しい気持ちを伝える。

# 資料ページ



(資料1) 課題を確認している場面



(資料2) グループでスキット作成



(資料3) グループでスキット練習



(資料4) 模型電話を使ってスキット発表

**Speaking Plus 3**  
教科書 P.80~81

◆電話での応対のしかたや、人を招待するときの言い方を覚えよう。「もしもし」は「Hello」で表すよ。

◆本表現を書いてみよう！

●Date

4. Hello?  
B: Hello, Bin? This is Lisa.

1 新出の単語や表現の確認をしよう。教科書に出てくる順に上から書いていこう。

意味など	意味など
free 空いた時間がある	goodbye さよなら
plan(n)ing 計画する	bye さよなら
party パーティー	
noon 正午	
then それから	
How about...? (提案・勧誘) どうですか	
See you. またね	
Goodbye. (Bye) さよなら	
we're ← we are	

2 教科書の文を写したり、黒板の書き写しに使う。

明日の予定？  
Are you free tomorrow? 明日空いた時間ある？  
お茶園公園でテニスしようよ。 Sorry, I'm busy.  
Let's play tennis at Wakada Park. 何か遊びませんか？ OK. Let's meet.  
How about video games at my house? Great! Meet.

3 次の授業の準備などについて書こう。

自己評価をしてみよう。 A: Good B: Very Good C: OK D: Not OK

1 取組の表現や単語がわかった。 B C D  
2 取組での応対のしかたがわかった。 B C D  
3 取組を勧誘するときの言い方がわかった。 B C D

30 第14回

(資料5) 生徒の授業ノート



守谷中学校 第3学年 英語指導案

指導者 T1(JTE) 尾崎 智勝  
 T2(JTE) 霜田 恭男  
 T3 (ALT) Blain Armstrong

1. 単元名 Speaking Plus 4 電話の会話ー申し出る, 伝言を頼む

2. 本時の学習

(1) 目標

電話の応答で, 「後でかけさせましょうか」などと申し出たり, 伝言を頼むことができる。

(2) 展開

学習活動・内容	教師の指導と評価 (◇教師の支援の手だて)
<p>少人数教室Aで一斉指導</p> <p>1 あいさつをする。</p> <p>2 電話の基本表現を確認する。</p> <p>Hello.</p> <p>May I speak to Tom?</p> <p>Can I leave a message?</p> <p>3 本時の学習課題を確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">電話の会話で, 申し出たり伝言を頼む表現を理解し,使ってみよう。</p>	<p>・カードを黒板に提示し, 基本の確認をしやすいようにする。</p> <p>・繰り返し発音練習し, 本時の学習につなげる。</p> <p>・本時の学習課題を確認し, 意欲的に授業に臨ませる。</p>
<p>4 コースごとに分かれて学習をする。</p> <p>少人数教室A (基礎コース)</p> <p>① 役割練習をする。</p> <p>② 場面設定カードで情報を与えて, 場面にあった対話を演じる。</p> <p>少人数教室B (応用コース)</p> <p>① 教科書の本文を復習する。</p> <p>② モデル対話をかえて, スキットを作成する。</p> <p>③ 対話の練習をグループごとに行い, ICレコーダーに録音し, 聞いてみる。</p> <p>5 本時のまとめをする。</p>	<p>少人数教室A (T 尾崎)</p> <p>◇電話をかける側, 受ける側の表現について確認をし, 役割練習を交互にさせる。</p> <p>◇机間巡視をし, 大きな声で発音練習するように支援する。</p> <p>・活動をスムーズに行うことができるように, ワークシートを使って活動の流れについて詳しく説明する。</p> <p>㊦場面設定カードの場面に沿って, 友達と協力して対話を考えようとしているか。(観察)</p> <p>㊧電話の応答で, 申し出たり伝言を頼む表現を使うことができたか。(ワークシート)</p> <p>少人数教室B (T 霜田, ALT)</p> <p>◇電話をかける側, 受ける側の表現について確認をし, 本文の音読練習をする。</p> <p>◇「場所と時間」など具体的にかえるところをわかりやすくして, 今日の活動の展望をもたせる。</p> <p>・ワークシートに自分たちのグループの対話を記入させる。</p> <p>・対話を電話の模型を使って, 原稿を見なくても対話できるように繰り返し練習させる。</p> <p>㊦意欲的に, 友達と協力して対話を考え, 練習しようとしているか。(観察)</p> <p>㊧電話の応答で, 申し出たり伝言を頼む表現を使うことができたか。(ICレコーダー, ワークシート)</p> <p>・各教室で本時の活動を振りかえさせる。</p>

# 資料ページ

## (資料1) 少人数教室 A での教室配置方法

**少人数教室配置図**

1. 電話をかける側が、カードを見ながら指示に従って話しかける。電話を受ける側は、模型の電話のベルがなったら、対応する。  
(ついたてがあるので、顔が見えず、本当に電話で対応しているような感覚になる)
2. 次の番のペアは、教科書を使って、対話練習をして待つ。
3. 終わったペアは、今会話をしているグループの評価をする。(相互評価)
4. この順序を繰り返し、基本対話を十分に練習した後、自分たちの対話の作成を行う。

## (資料2) 授業で使用したワークシート

**Speaking Plus 4 電話の会話特訓シート**

Class No Name

**STEP 1** 電話コーナーで、対話カードにしたがって役割練習をやってみよう!

(電話をうける側)

Memo 1	Memo 2
--------	--------

(電話をかける側)

記号	伝言内容	記号	伝言内容

**STEP 2** 自分たちの対話を考えましょう!

受けるA: Hello?  
 かけるB: Hello. This is \_\_\_\_\_ (自分の名前).  
 May I speak to \_\_\_\_\_ (相手の名前) please.  
 受けるA: I'm sorry, \_\_\_\_\_ is out.  
 Do you want \_\_\_\_\_ to call you back?  
 かけるB: No, but can I leave a message?  
 受けるA: Sure.  
 かけるB: \_\_\_\_\_ (伝言内容).  
 うけるA: OK. \_\_\_\_\_ (内容を繰り返す).  
 かけるB: Yes. Thank you very much.  
 受けるA: You're welcome.

**STEP 3** 自分たちの対話を考えましょう!

## (資料3) 使用した情報カード

<p><b>A</b></p> <p>●STEP2 電話をかける側</p> <p>つくばの湯〜ワールドに行くので誘う</p>	<p><b>B</b></p> <p>●STEP2 電話をかける側</p> <p>すき家に納豆を食べに行くので誘う</p>
<p><b>C</b></p> <p>●STEP2 電話をかける側</p> <p>常総運動公園(Jyoso Sports Park)にテニスをしに行くので誘う</p>	<p><b>D</b></p> <p>●STEP2 電話をかける側</p> <p>おぎき先生の家を掃除しに行くので誘う</p>

<p><b>A.</b></p> <p>ALT: Hello?          ●Hello. This is _____          Is this _____?          ALT: Yes, it is.          ●May I speak to _____ please?          ALT: Sorry, but he's out now.          ●OK. I'll call back later.</p>	<p><b>B.</b></p> <p>ALT: Hello?          ●Hello. This is _____          Is this _____?          ALT: Yes, it is.          ●May I speak to _____ please?          ALT: Sure. Just a minute.          ALT: Hi, _____! What's up?          ●I'm going to Sukiya to eat Natto. Why don't you come?          ALT: OK. See you there.          ●OK. Bye. ●Students</p>
<p><b>C.</b></p> <p>ALT: Hello?          ●Hello. This is _____          ALT: Hi.          ●Sorry. You have the wrong number.          ●I'm sorry.          ALT: Hello?          ●Hello. This is _____ Is this _____?          ●Yes, it is.          ●May I speak to _____ please?          ALT: Sure. Just a minute.          ALT: Hi, _____! What's up?          ●I'm going to the Jyoso Sports Park to play tennis. Why don't you come?          ALT: OK. See you there.          ●OK. Bye. ●Student</p>	<p><b>D.</b></p> <p>ALT: Hello?          ●Hello. This is _____          Is this _____?          ALT: Yes, it is.          ●May I speak to _____ please?          ALT: Sure. Just a minute.          ALT: Hi, _____! What's up?          ●I'm going to Mr. Ozaki's house to clean. Why don't you come?          ALT: OK. See you there.          ●OK. Bye. ●Students</p>

愛宕中学校 第1学年外国語指導案

授業者 JTE 藤森 香苗  
ALT Scott Zaleski

1 題材名 日本大好き (NEW HORIZON ENGLISH Course 1)

2 本時の学習

(1) 目標

見たり聞いたり動いたりしながら動詞の概念を理解し、学習した動詞を使ってスキットを作ることができる。

(2) 展開 (評) は評価, ※は本時の工夫点, ★は配慮を要する生徒への手だて, 目標は B 基準

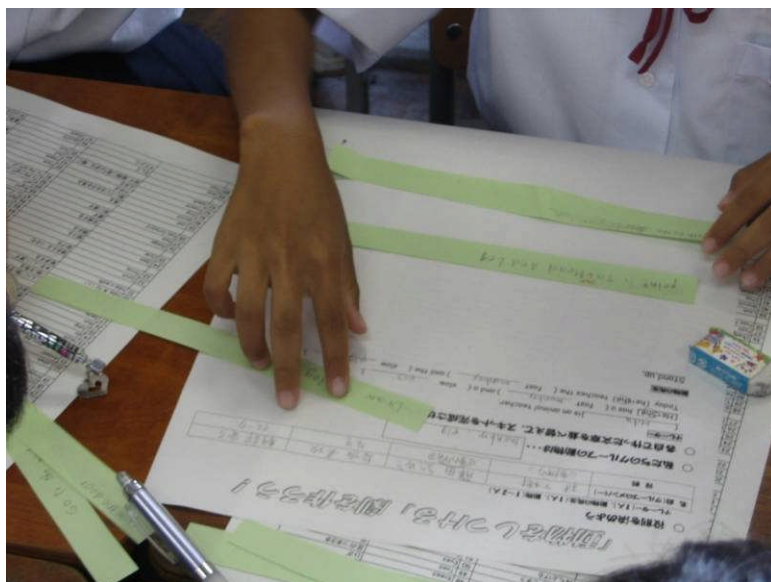
時間	学習活動・内容	教師の指導と評価	
		JTE	ALT
10	1 あいさつをする。 2 本時の学習課題を確認する。 今まで学習した動詞を使って、スキットを作って演じよう。 3 スキットで用いる表現を練習する。 (1) Listening (2) Look, Say and Do (3) 単語シートの動詞を音読する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒と共に元気よく ALT のあいさつや質問に答える。</li> <li>これまで TPR の活動で学習してきた、動詞の命令文を使って、劇の台本作りをすることを知らせる。</li> <li>ALT が指示した動作をしながら、机間を回る。</li> <li>本時のスキット作りに用いる表現を、単語シートの動詞を復唱させて確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>元気よくあいさつをして、明るい雰囲気を作る。</li> <li>生徒全員に動作を指示し、動詞の概念をつかませる。</li> <li>単語シートの単語を音読し、生徒の発音のモデルとなる。</li> </ul>
30	4 スキットづくりをする。 (1) スキットの文を書く。 (2) グループになり、役割を決める。 (3) グループで文章を持ち寄って、構成し、スキットを完成させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>劇のテーマの “Animal School Skit” について日本語で補足説明をする。</li> <li>一人2文は書くことを指示する。</li> <li>Stand up. と Sit down. 以外の文章を考えさせる。</li> <li>★文章が思い浮かばない生徒には、文を作るように助言する。</li> <li>ナレーター、動物の先生、動物の3つ中から、グループで相談して各自の役割を決めるように指示する。</li> <li>必要があれば文章をつけたしてもよいことを伝える。</li> <li>グループを回って、並べ替えのパターンを示して、スキットを完成できるように助言する。</li> </ul> (評)	<ul style="list-style-type: none"> <li>“Animal School Skit” について説明をする。</li> <li>動物カードを引かせて、グループの動物を決めさせる。</li> <li>文章が正しく書けているか、机間指導をして確認する。</li> <li>単語シートの語句を組み合わせさせて</li> </ul>
10	5 スキットを演じる 6 本時のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>指名なしで、立候補順に発表させる。</li> <li>表現活動に積極的に取り組めたことを賞賛し、次時への意欲を持たせる。</li> </ul>	(A) 動詞の概念を理解してスキットの文章を書き、積極的にアイデアを出してスキットをまとめられたか。 (B) 動詞の概念を理解し、スキットの文章を書くことができたか。

(資料1) スキット作りで使用したワークシートと学習過程



- ・これまでに学習してきた単語が一覧になった「単語シート」を手がかりに、スキットで使う文章を短冊に書く。
- ・一人2文以上という課題で、短冊を書く。ゆっくり考えたい生徒は2文、たくさん思いつく生徒は3～5文作った。

- ・英文が書かれた短冊をグループで持ち寄り、スキットの構成を考えます。
- ・短冊を並び替えることによって、スキットを完成させる。
- ・グループで活動することによって、短冊に書いた内容を確認し合ったり、動きが面白くなる展開を考えたりすることができた。
- ・短文を持ち寄ることによって、ある程度の長さのスキットも短時間で完成させることができた。



(資料2) スキット作りの話し合いの様子



1 題材名 Speaking plus 2 電話の会話 (NEW HORIZON ENGLISH Course 2)

2 本時の学習

(1) 目標

電話の会話を学び、取り次ぎの表現を用いてオリジナルのスキットを作ることができる。

(2) 展開

(評)は評価、※は工夫した手だて、★配慮を要する生徒への手だて

時間	学習活動	指導上の留意点・評価	
		J E T	A L T
1	1 あいさつ Good morning. How are you? I'm fine, thank you. And you ? etc. 2 クリス・クロスゲーム What time did you get up this morning? What are you going to do this evening? etc. 3 本時の学習内容を確認する。 学習課題 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">                         May I speak to Taro, please? を                          使ってスキットを作ろう。                     </div>	・大きな声であいさつし、英語学習の雰囲気 を盛り上げる。 ・既習の表現を用いた一問一答の対話を行 う。 ・JET と ALT が交互に質問する。	
3	(1) 新出語句の確認 (2) 対話の音読練習 ・ALT の後に続いて1文ずつ丁寧に読 む。 ・役割を変えて練習する。 ・各自が自力で全文を読む。 (3) 対話の暗唱をする。 ・絵美, デービスさん, マイク役を決め それぞれの台詞を暗唱する。 ・教師にチェックを受ける。 (4) その他の表現を練習する。 ・電話をかける側 I'll call back later. など ・電話を受ける側 Sorry. You have the wrong number. Sorry, but he's out now. など (5) スキットを作る。 ・3人1組のグループで教科書を参考に オリジナルのスキットを作る。 ・スキットができたグループから練習を 始める。	・課題を板書し、本時 のねらいを確認でき るようにする。 ・モデル対話を行い、「～さんをお願いします」 を導入する。 ・生徒と一緒にリピー トする。 ・意味の確認をする。 ※読み方を変えて何度 も練習できるようにす る。	・モデルを示し、リピー トさせる。 ・モデルを示し、リピー トさせる。
32		・5分間時間をとり、できるようになったグル ープからチェックを受けるよう指示する。 ★暗唱が苦手な生徒は、マイクの台詞を練習す るよう指示する。 ・生徒と一緒にリピー トする。	・Tool Box を範読し、 リピートさせる。
		・時間をかけずに、決まり文句として扱う。 ・wrong は反対語の good と対比させる。 ・「～はいらっしゃいますか」の表現を使って スキットを作るよう指示する。 ・教室を回り、分からない表現などに答える。 ★単語の入れ換えのみでスキットを完成させ、 練習に時間をとるよう指示する。 (評) 場面を理解し、既習の表現を用いてスキット を作ることができる。 (観①④ ワークシート, 観察)	
2	4 次時の学習内容を知る。	・よかった点を上げ、今時の活動を賞賛する。 ・次時の内容を予告し、意欲の継続を図る。	

(資料1)



(資料2)

**英語活動 評価カード**

Class 3 No. 4 Name

1 自己評価 ◎ ○ △ ×

月日	活動内容	意欲 態度	話すこと 書くこと	聞くこと 読むこと	反 省
	○構作をします。 ○練習をします。				
	発表をします。	◎	○	◎	内容を、少しか りやすいものにし ました。次はき つきたい▽

2 友だちの評価 ◎ ○ △ ×

グループ	声の大き さ	態度 表情	わかり やすさ	メモ
1	○	○	◎	内容がわかり やすかった。
2	◎	◎	○	「チョコレートがみどり色」が おもしろ かった。
3	◎	○	○	声が大ききとやさしかった。
4	○	○	◎	内容がかんたんてわかりやすかった。
5	○	◎	○	楽しそうにやっていたよ。
6	○	○	○	少し声が小さくて わかりづらかった。
7	?	?	?	自分たち!
8	○	○	△	途中でまどってしまったのか 残念だった。
9	◎	○	○	声の大きさは◎! でも、スラスラととも良いと思 う。
10	◎	◎	○	声だけでなく、表現もしてい た良いと思った。

**英語活動 評価カード**

Class 3 No. 35 Name

1 自己評価 ◎ ○ △ ×

月日	活動内容	意欲 態度	話すこと 書くこと	聞くこと 読むこと	反 省
	○構作をします。 ○練習をします。				内容も読んでみて よかったです。
	発表をします。	◎	◎	◎	緊張した声で発表 できなかった。

2 友だちの評価 ◎ ○ △ ×

グループ	声の大き さ	態度 表情	わかり やすさ	メモ
1	◎	◎	○	最初の英語に聞かされた
2	◎	○	◎	よかった。
3	△	◎	△	自分のことにはよかった。
4	◎	◎	◎	全員がよかったです。
5	◎	◎	◎	みんな楽しそうにやっていた。
6	◎	◎	◎	みんなが楽しそうにやっていた。
7	◎	◎	◎	みんなが楽しそうにやっていた。
8	◎	◎	◎	みんなが楽しそうにやっていた。
9	◎	◎	◎	みんなが楽しそうにやっていた。
10	◎	◎	◎	みんなが楽しそうにやっていた。
11	◎	◎	◎	みんなが楽しそうにやっていた。
12	◎	◎	◎	みんなが楽しそうにやっていた。
13	◎	◎	◎	みんなが楽しそうにやっていた。

# 御所ヶ丘中学校 第2学年外国語指導案

授業者 JTE 江原 邦章  
ALT Laura Spring

1 単元名 Unit 3 E-pals in Asia –Multi Plus 1 わたしの夢

2 本時の学習

(1) 目標

- ・不定詞を用いて「将来なりたいもの」について、英語で書くことができる。
- ・級友と協力し合いながら「将来なりたいもの」についてインタビューすることができる。

(2) 展開

学 習 活 動	☆ 留 意 点	
	JET	ALT
<p>1 あいさつをする。</p> <p>2 ウォームアップをする。 ・クリスクロスゲームで前時までの復習を行う。     Do you ~? What time ~?     Where ~? Whose ~?     Who ~? How many ~?</p> <p>3 本時の学習内容を確認する。     「将来なりたいもの」について英語で表現してみよう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな声であいさつし、英語学習の雰囲気を盛り上げる。</li> <li>・全員が積極的に挙手をし、自分の意見が発表できるよう助言する。また、英語を苦手とする生徒に対しても、楽しく活動に参加できるような雰囲気づくりに努める。</li> <li>・本時の学習内容について確認する。</li> </ul>	
<p>4 4技能を用いた表現活動を行う。</p> <p>①Reading     新出単語、基本文を読み、意味の確認をする。</p> <p>②Listening     モデル対話を聞き、内容を理解する。</p> <p>③Writing     既習文法を使用し、「将来なりたいもの」を書く。</p> <p>④Speaking &amp; Writing     インタビュー活動を通して、相手の将来の夢を聞き、ワークシートにまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒と共に読み、発音に気をつけながら、大きな声で読めるよう助言する。</li> <li>・机間指導をしながら、音声から不定詞の用法が理解できているかを確認する。</li> <li>・不定詞を使って、積極的に相手に質問できるよう、助言する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">(評価1) 不定詞を用いて「将来なりたいもの」を適切に書くことができたか。 (観察・ワークシート)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語を苦手としている生徒に対して、日本語を交えながら活動できるよう援助する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">(評価2) インタビュー活動を通して、相手の「将来なりたいもの」を聞き、ワークシートにまとめることができたか。 (観察・ワークシート)</p> </div>	
<p>5 本時のまとめを行う。 ・自己評価をし、本時の学習内容を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・級友とワークシートを見せ合いながら、本時の学習の要点を確認し合うよう呼びかけ、活動に活発に取り組めた生徒たちを賞賛したい。</li> <li>・意欲的に活動できたことを賞賛し、次時の学習につなげたい。</li> </ul>	

# (資料1) 授業の様子

## ア) ALTとJETのデモンストレーション

「将来なりたいもの」についてのモデル対話



## イ) ワークシートにまとめる作業

机間指導をしながら、英文のチェックを行っている



## ウ) インタビュー活動の様子

ペアになって、自分が「将来なりたいもの」について会話している様子



# (資料2) ワークシート

自分の夢を相手に話してみよう  
class No. Name

① 教科書と下の Tool Box を参考に、①自分の夢 ②したいこと を書いてみよう。

① \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

② \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

< Tool Box >

俳優 actor 女優 actress 客室乗務員 flight attendant アナウンサー announcer  
 教師 teacher 大工 carpenter スポーツ選手 athlete 美容師 hairdresser  
 トリマー trimmer シェフ chef デザイナー designer スタイリスト stylist  
 エンジニア engineer 声優 radio actor(actress) 公務員 officer  
 お笑い芸人 comedian 医者 doctor 歯医者 dentist 科学者 scientist  
 プログラマー programmer 宇宙飛行士 astronaut

② インタビューをして、相手の①将来の夢 ②したいこと を聞いてみよう。

① What do you want to be in the future? be: ~になる  
 ② What do you want to do in the future? do: ~する

名前	①将来の夢	②したいこと
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____
_____	_____	_____



# 御所ヶ丘中学校 第3学年外国語指導案

授業者 JTE(1) 三浦 優子  
 JTE(2) 鈴木 優子  
 ALT Laura Spring

1 単元名 Unit 5 Cell Phones – For or Against? –Writing Plus 1 意見の主張

2 本時の学習

(1) 目標

- ・グループ対抗でディベートをすることで、英語で自分の意見を主張することができる。
- ・グループのディベートを聞き、内容を理解してジャッジすることができる。

(2) 展開

学 習 活 動	☆ 留 意 点	
	JET (1), (2)	ALT
<p>1 あいさつをする。</p> <p>2 ウォームアップをする。 ・ディベートで使う表現を練習する。</p> <p>3 本時の学習内容を確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     英語でディベートをしよう。                      Junior high school students shouldn't have cell phones.                 </div>                 ・ディベートの流れを確認する。                  ・ジャッジの判定規準を確認する。                  ① 適切な声の大きさか。                  ② 英文が相手に伝わりやすいものであるか。                  ③ 議論がかみ合っているか。</p> <p>4 ディベートを行う。                  ①肯定側（立論）                  ②否定側（質疑）                  ③否定側（立論）                  ④肯定側（質疑）                  ⑤作戦タイム                  ⑥否定側（反駁）                  ⑦肯定側（反駁）                  ⑧判定・感想</p> <p>5 本時のまとめを行う。 ・相互評価シートに記入する。</p>	<p>・大きな声であいさつし、英語学習の雰囲気盛り上げる。</p> <p>・クラスを3つに分け、ディベートで使う表現を口頭練習で確認する。</p> <p>・原稿を読むのではなく、できるだけ相手を見て発表することが、自分の考えを相手に理解してもらうことにつながり、大切なことを助言する。</p> <p>・相手の発表中はメモをとることを助言する。</p> <p>・ジャッジ担当の生徒に、ポイントをメモして議論の流れを把握しておくことを助言する。</p> <p>・グループ対抗で、テーマに沿ってディベートを行うことを確認する。</p> <p>・作戦タイム時に、どのように反論すればよいか助言する。</p> <p>・ジャッジ担当の生徒が議論の流れを理解できているか、メモを見ながら確認する。</p> <p>・ジャッジ担当の生徒に、反論が相手の意見に対応しているかを最も重要な判断材料にすることを指示する。</p>	<p>・クラスの3分の1を担当し、ディベートで使う表現を口頭練習で確認する。</p> <p>☆相手に聞こえる大きな声で、またイントネーションやアクセントに気をつけながら発表すると理解してもらいやすいことを伝える。</p> <p>・ディベートのテーマと、ジャッジの判定基準を英語で説明し、具体的なポイントを例示しながら確認する。</p> <p>・作戦タイム時に、わからない表現のヒントを与える。</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     評価1 相手の立論に対してわかりやすい英語で、説得力のある内容で説明することができたか。(観察・ワークシート)                 </div>	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     評価2 発表者の意見を理解し、判定規準に従って勝敗を判定することができたか。(ワークシート)                 </div>	
	<p>・各グループの良かった点や、次回自分たちがディベートを行うときに見習いたい点を、具体的に書くよう助言する。</p>	<p>☆意欲的に活動できた生徒や、良い意見などを賞賛し、次時以降の学習につなげていきたい。</p>

(資料1) ディベートの様子

① 否定側が意見を述べる様子



② 作戦タイム



(資料2)

① 肯定側の立論

① It has many functions.  
 For example, when you want to listen to music, you have to buy a music player. But if you have it, you can listen to music by it anytime

② 否定側の反論

相手の立論の根拠①に対する反論  
 many function たくさん機能がある  
 少ない機能もある I don't need <sup>some</sup> functions for example, cell phone games  
 and we don't need a cell phone to track exercise.

③ 否定側の立論

And finally,  
 In some places, cell phones don't work.  
 → for example, in the mountains

④ 肯定側の反論

相手の立論の根拠②に対する反論  
 山奥で使いたい  
 ↓  
 富士登山をした時に、あんな高い山でも、  
 使えない機種はなかった。  
 When I climbed the Mt. Fuji, which is the highest mountain in Japan,  
 We could use a cell phone.

けやき台中学校 第1学年外国語指導案

授業者 JTE (T1) 関 亜紀  
ALT (T2) James Mallion

1 単元名 Unit 6 グリーン家の人々 (New Horizon English Course 1)

2 本時の学習

(1) 目標 相手に性格診断テスト（インタビュー活動）を行い，3人称の文に書き換えて相手を紹介する文を発表することができる。

(2) 展開

学 習 活 動 及 び 展 開	指導上の留意点 (評価は <sup>①</sup> 評)	
	T 1	T 2
1 英語であいさつをする。 2 本時の学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                         友だちに性格診断テストをして結果をまとめて発表してみよう                     </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>英語であいさつをすることによって，英語の雰囲気をつくる。(日付・天候など)</li> <li>学習課題を黒板に提示し，見通しが持てるようにする。</li> </ul>	
3 性格診断テストを行う。 <ペア学習> ・ Do you ~?を使って相手に質問をし，メモを取る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動をわかりやすくするためにデモンストレーションをT2と行う。</li> <li>全体の進行状況を確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>T1の質問に答えることにより，ペア活動の役割を明確にする。</li> <li>躓きが見られるペアを支援する。</li> </ul>
4 性格診断テストから分かったことを英文にまとめる。 (1) 主語が3人称単数のときに動詞が変化することを確認する。 (2) 相手に質問したことを，主語を3人称単数にして書き換え，ワークシートに記入する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ヒントカードを使って黒板に提示する。</li> </ul> ※ 性格診断テストの結果から分かったことを活用して，主語を3人称単数に英文に正しく書き換えることができるよう，助言しながら机間指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>動詞を発音し，-s -esの読み方を示す。</li> </ul>
5 英文を発表する。	※ 発表する際のポイントを伝え，意識させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>性格診断テストの結果を英語で伝える。</li> </ul>
6 本時の授業を振り返り，次時の学習を確認する。	① 質問したメモを基に，3人称単数の英文で正しく表現することができたか。 (観察・ワークシート)	② 発表のポイントに従い，意欲的に発表することができたか。(発表) ・ 本時の自己評価をカードに記入させ，次時の学習につなげたい。



# けやき台中学校 第3学年外国語指導案

授業者 小針 淳一

1 題材 Unit4 An American *Rakugo-ka* (NEW HORIZON English Course 3)

## 2 本時の学習

(1) 目標 限られた時間内でまとめた内容を把握し、それに基づいてワークシートを完成することができる。

### (2) 展開

学習活動および内容	指導上の留意点 (評価は⑧)
1 英語であいさつをする。  2 本時の学習のめあてを確認する。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;">             限られた時間でまとめた内容を読み取ろう           </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・英語であいさつをすることによって英語学習の雰囲気を作る。</li> <li>・本時の学習課題を把握し、見通しが持てるようにする。</li> <li>・学習課題, その手順はワークシートで示す。</li> </ul>
3 小話の内容を理解する。  (1) リスニングをする。  (2) 新出語句の意味の確認と発音練習をする。  (3) 小話の音読練習をする。  (4) ワークシートの質問に英語/日本語で答える。  (5) ワークシートの英問英答(Q&A)に答える。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音読練習がスムーズにできるように、イントネーション、リズムなどに注意してリスニングをさせる。</li> <li>・FCの使用で音とスペリングの両方を示し、活動の目的を明確にする。</li> <li>・Choral/buzz reading など、様々なタイプの音読エクササイズを取り入れることで生徒の内容理解を促す。</li> <li>・答えは英語/日本語で与え、生徒のそれぞれのレベルで表現および理解ができるように配慮する。</li> </ul> <p>⑧ 小話の内容を理解し、それによってワークシートのリーディングポイントへ自分のskillにあった表現を用いて答えることができる。</p> <p>⑧ 完成したワークシートをもとに、本時の学習内容と表現方法の再確認をしながら、Q&amp;Aに正しく答えることができる。</p>
4 本時の活動を振り返り、次時の学習を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小話の内容についてT-F Qsを行い、学習の成果を確認させることで、次時への意欲付けとしたい。</li> </ul>

「短い時間で、まとまった内容を読み取ろう!!」  
～クラウリーさんの日本人の友達が生じた失敗とは何でしょうか?～



(日本語)

1 今度は誰の話ですか。KEY WORD: friend=友だち

(英語) His ( ) friend had a ( ) problem.

2 いつ、誰が、どこに行ったとき起こったことですか。KEY WORD: one day=ある日

(日本語)

(英語) ( ) day his ( ) him to an ( ) American ( ) .

3 その友達はどうしましたか。KEY WORD: ate=eatの過去形, 「食べた」

(日本語)

(英語) He ( ) some ( ) .

4 その友達はどういう行動をとりましたか。KEY WORD: shouted=shoutの過去形, 「叫んだ」

(日本語)

(英語) So he ( ),“( ) sorry! I’m ( )!”

5 その結果はどうなりましたか。KEY WORD: everyone=だれもが, みんな

(日本語)

(英語) Everyone in the ( ) stopped ( ) and ( ) ( ) him.

6 それはどうしてだと思いますか。(自由に書きましょう)

<まとめ> この質問に答えられたら、このページは OK です!

① Q&A

1. Did Bill's friend eat a lot of at the restaurant?

( )

2. What did he shout?

( )

② TF

1. Bill's friend was an American.

T /  F

2. One day Bill's family took his friend to an elegant Japanese restaurant.

T /  F

3. He didn't eat a lot.

T /  F

4. He friend wanted some water.

T /  F

5. He shouted, “*Sumimasen!*” in the restaurant.

T /  F

6. Everyone in the restaurant stopped eating and looked at him.

T /  F